科目名【英】	生物学【Biology】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	1年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期月曜 2学期金曜	時　限	2限

12学期担当教員	坂井　優志	実務者経験	金沢武士団鍼灸整骨院　1年間勤務 まえいけ整骨院　1年半勤務

学習内容	体幹～下肢までの骨格について学ぶ
到達目標	骨格への苦手意識をなくし、解剖学への学びが円滑になること。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備　考	

成績評価	本試験100％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	運動器系	骨の構造、解剖学的用語を列挙できる。
2	関節運動	運動方向を解剖学的用語を列挙できる
3	骨格筋	骨格筋の構造と機能を理解する。
4	脊柱の骨	脊柱の構造、解剖学的用語を列挙できる。
5	胸郭の骨	胸郭の構造、解剖学的用語を列挙できる。
6	上肢帯	上肢帯の構造、解剖学的用語を列挙できる。
7	上腕の骨	上腕の構造、解剖学的用語を列挙できる。
8	前腕の骨	前腕の構造、解剖学的用語を列挙できる。
9	**手の骨**	上肢帯の構造、解剖学的用語を列挙できる。
10	1学期の復習	1学期の総復習
11	試験案内	試験様式、質問など
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	１学期の復習	１学期の復習
2	下肢帯	下肢帯の構造と機能を理解する。
3	大腿の骨	大腿の構造と機能を理解する。
4	下腿の骨	下腿の構造、解剖学的用語を列挙できる。
5	足の骨	足の骨の構造、解剖学的用語を列挙できる。
6	上肢の連結	上肢帯の構造、解剖学的用語を列挙できる。
7	下肢帯の連結	下肢帯の構造、解剖学的用語を列挙できる。
8	膝関節の連結	膝関節の構造、解剖学的用語を列挙できる。
9	足関節の連結	足関節の構造、解剖学的用語を列挙できる。
10	２学期の復習	一学期の総復習
11	試験案内	試験様式、質問など
12	試験	試験

科目名【英】	コミュニケーション学【Communication Studies】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	1年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期：木曜 2学期：水曜	時　限	2限

1学期担当教員	吉川　征延	実務者経験	2004年～2005年　新淡路病院にて臨床心理士として従事 2005年～　阪南病院にて臨床心理士として従事

2学期担当教員	北川　朋子	実務者経験	聖トマス大学（英知大学）文学部「西欧文化史」「世界史」「英語」他担当 2000年～2012年 京都橘大学「キャリア開発講座　国語の基礎」担当2014年～2016年 びわこ学院大学「基礎学力講座　国語の基礎」担当2017年～現在に至る 清風情報工科学院　日本語学科「漢字特講」担当2017年～
2学期担当教員	西　佳代子	実務者経験	2019～2020 淀川こころのクリニック 2019～2023関西大学学生相談・支援センター　心理相談室 2021～2022堺市教育委員会スクールカウンセラー 2023～現在　関西大学北陽高等学校・中学校　スクールカウンセラー

学習内容	社会人として必要な基礎学力の向上を図る。
到達目標	文章を読み、論理的に書くことを学ぶ。次にグループワークを通して、各自の意見を尊重しながらも、自分の見解を適切に伝えることができるようになる。

準備学習時間外学習	授業をきっかけとして、日常生活における自分のコミュニケーションのあり方に関心を向けてみましょう。
使用教材	【配布資料】あり
留意点備　考	それぞれのテーマに応じたワークを実施します。

1学期成績評価	本試験100%

2学期成績評価	本試験70%　平常点30%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション 自己紹介	オリエンテーション 認識している自己像と、他者へ提示する「自己紹介」について考える
2	コミュニケーションとは	コミュニケーションの構造について学ぶ
3	アサーション	適切な自己主張とはなにかを考える
4	傾聴	人の話をきくとはどういうことか考える
5	ストレス①	ストレスの構造について学び、自分のストレスについて考える
6	ストレス②	コミュニケーションとストレスについて考える
7	発達心理学①	ライフステージを通した人の成長とコミュニケーションについて学ぶ①

8	発達心理学②	ライフステージを通した人の成長とコミュニケーションについて学ぶ①
9	感情	感情とコミュニケーションについて考える
10	対人援助	対人援助職のあり方について考える
11	振り返り・まとめ	ここまでの講義内容について振り返る
12	試験	定期試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	心理学とは	講義の進め方、オリエンテーション、心理学とは
2	人の行動（1）	行動と欲求、動機づけ、葛藤・欲求不満、学習
3	人の行動（2）	レスポンデント条件付けとオペラント条件付け、社会的学習、記憶
4	概論	オリエンテーション・コミュニケーションとは
5	自己理解	対人援助者としての自己理解
6	対人コミュニケーション1	非言語的コミュニケーション・準言語的コミュニケーション
7	対人コミュニケーション2	言語的コミュニケーション①
8	対人コミュニケーション3	言語的コミュニケーション②
9	援助的コミュニケーション1	自己決定への支援
10	援助的コミュニケーション2	ケアのためのコミュニケーション
11	まとめ	振り返り・まとめ
12	試験	定期試験

科目名【英】	自然療法概説【Outline of Naturopathy】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	1年生	学　期	1学期	曜　日	金曜	時　限	1限

担当教員	社家　あい子	実務者経験	2003年～2008年日本メナード化粧品株式会社で技術職員として従事 2001年日本アロマテラピー検定1級、2級取得

学習内容	自然療法（特にアロマセラピー）について学習する
到達目標	社団法人日本アロマ環境協会が実施するアロマテラピー1級検定試験合格程度の知識および鍼灸師が使える応用手技を修得する

準備学習 時間外学習	なし
使用教材	プリント配布
留意点 備　考	

成績評価	本試験100％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	授業概要	①自然療法について　②美容鍼灸について
2	検定対策１	精油の基礎知識
3	検定対策２	精油が働くしくみ、安全のための注意
4	検定対策３	精油プロフィール
5	検定対策４	精油プロフィール
6	検定対策５	精油プロフィール
7	検定対策６	精油プロフィール
8	検定対策７	精油プロフィール
9	検定対策８	試験対策・総復習
10	実技実習	①アロマテラピーの利用法と素材　②背面のオイルマッサージ
11	まとめと総復習	まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	解剖学①【Anatomy】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	1学期：月曜 2学期：土曜 3学期：水曜	時　限	1学期：1限 2学期：1.2限 3学期：2限

担当教員	山本　岳	実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務

学習内容	筋骨格系の名称を学ぶ　骨の構造、関節構造を学ぶ 筋の作用よりどのような運動が起きるかを学ぶ
到達目標	ヒトの骨の名称を列挙できる　ヒトの骨の部位の名称を列挙できる　ヒトの筋の名称を列挙できる 筋の作用を筋の名称と併記できる　運動により起きる障害が想起できる

準備学習 時間外学習	配布資料の事前確認　解剖学教科書の内容確認
使用教材	配布資料【ファイル】　医歯薬出版解剖学第2版　医学書院プロメテウス解剖学コアアトラス第3版
留意点 備　考	資料を事前に確認しておくこと

成績評価	平常点：30%【小テスト、課題提出：30点満点】　本試	平常点：30%【小テスト：10点満点】　本試験：70%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	運動器系とは	運動器系とは、人体の区分
2	身体の構造など 骨の分類・構造	解剖学　骨細胞　長骨・短骨・扁平骨など 運動の名称を列挙できる
3	関節の分類・構造 全身の骨格	滑膜性関節　関節の動き　全身骨格の名称 全身骨格の名称を列挙できる
4	筋肉について	分類　役割　動き方 全身にある筋肉の特徴を説明できる
5	全身の筋	全身の骨格筋について 全身の骨格筋の名称を列挙できる
6	肩甲骨・上腕骨 ・鎖骨	骨の名称　骨上のランドマーク 上肢帯・自由上肢【上腕骨】上のランドマークを列挙できる
7	橈骨・尺骨・手部	骨の名称　骨上のランドマーク 自由上肢【前腕・手部】上のランドマークを列挙できる　手根骨の並びを説明できる
8	上肢の筋	肩甲骨に付着する筋 肩甲骨に付着する筋の名称を列挙できる　肩甲骨の筋の作用を説明できる
9	上肢の筋	上腕部の筋・前腕部の筋・手部の筋 上肢の筋の名称を列挙できる
10	神経支配 体表観察	各筋肉の支配神経　体表から蝕知できる筋肉 全身の支配神経を分類できる
11	振り返り	試験説明、１学期の復習
12	試験	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	上肢の運動	肩関節・肘関節・手部の運動とてこ 上肢の運動を説明できる
2	局所解剖	全身の局所解剖 全身の筋の名称を列挙できる　局所解剖について説明できる
3	体幹の骨 椎骨・肋骨など	骨の名称 骨上のランドマーク 椎骨【頸椎～腰椎・仙骨】の個数を説明できる 椎骨の基本構造を説明できる 各椎骨のランドマークを列挙できる 肋骨上のランドマークを列挙できる
4	体幹の筋	胸部・腹部の筋 胸腹部の筋の名称を列挙できる
5	体幹の筋	背部・頚部の筋 頚部・背部の筋の名称を列挙できる
6	神経支配 体表観察	各筋肉の支配神経　体表から触知できる筋肉 全身の支配神経を分類できる
7	体幹の運動	体幹の運動 体幹の運動を説明できる
8	骨盤【寛骨】	骨の名称　骨上のランドマーク　男女の差 寛骨上のランドマークを列挙できる　寛骨の男女差を説明できる
9	大腿骨	骨の名称 骨上のランドマーク 大腿骨上にあるランドマークを列挙できる
10	脛骨・腓骨	骨の名称 骨上のランドマーク 脛骨・腓骨上にあるランドマークを列挙できる
11	振り返り	試験説明、２学期の復習
12	試験	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	足部	骨の名称　骨上のランドマーク　距骨の構造 足部の骨の名称を列挙できる　距骨の構造を説明できる
2	下肢の筋	寛骨に付着する筋 寛骨に付着する筋の名称を列挙できる　寛骨に付着する筋の作用を説明できる
3	下肢の筋	大腿部の筋 大腿部に付着する筋の名称を列挙できる　大腿部の筋の作用を説明できる
4	下肢の筋	下腿・足部の筋 下腿・足部の筋の名称を列挙できる　下腿・足部の筋の作用を説明できる
5	下肢の運動	股関節・膝関節・足関節の運動とてこ 下肢の運動のてこを説明できる
6	神経支配 体表観察	各筋肉の支配神経　体表から触知できる筋肉 全身の支配神経を分類できる
7	局所解剖	全身の局所解剖 全身の筋の名称を列挙できる　局所解剖について説明できる
8	頭蓋骨	頭蓋骨の名称 頭蓋骨の名称を列挙できる　各頭蓋骨の特徴を説明できる
9	顔面の筋・運動	表情筋　表情について 表情筋の特徴を説明できる

10	振り返り	試験説明、３学期の復習
11	試験	
12	予備日	試験返却　解答解説

科目名【英】	解剖学②【Anatomy】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	1学期金曜 23学期火曜	時　限	1学期2限23学期2限

1学期 担当教員	高木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当
2.3学期 担当教員	柴田　雅朗	実務者経験	1999年4月～大阪医科大学医学部に所属。 解剖学・組織学の講義、人体解剖に携わっている。

学習内容	人体の組織的および肉眼的系統解剖学について学ぶ。
到達目標	身体を構築する各臓器の構造を機能とともに理解する

準備学習 時間外学習	解剖学用語は医学的な用語、漢字が多いので読み方がわからないときは辞書を用いて予習しておくこと
使用教材	解剖生理学　東洋療法学校編
留意点 備　考	3Dで理解できるソフト、アプリなどを活用できると良い

1学期 成績評価	本試験90%、平常点10%
2,3学期 成績評価	本試験100%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	人体の構成１	細胞の構造、細胞分裂 細胞構造、細胞分裂について説明できる。
2	人体の構成２	組織 各組織について名称を列挙できる。
3	人体の構成３	組織、体表構造、人体の方向と区分 組織、体表構造、人体の方向と区分について説明できる。
4	循環器系１	血管系、心臓 血管系について説明できる。　心臓の部位の名称を列挙できる。
5	循環器系２	動脈系 動脈系について説明できる。　各部の動脈の名称を列挙できる。
6	循環器系３	静脈系 静脈系について説明できる。　各部の静脈の名称を列挙できる。
7	循環器系４	胎児循環、リンパ系 胎児循環について説明できる。　リンパ系に関連する名称を列挙できる。
8	循環器系５	予備日
9	呼吸器系	鼻腔・副鼻腔、咽頭・喉頭、気管・気管支、肺 呼吸器系各部の名称を列挙できる。
10	復習	試験案内、復習問題
11	復習	予備日、復習問題
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	消化器系１	消化管の基本構造 消化管の基本構造について説明できる。
2	消化器系２	口腔、咽頭 口、咽頭の部位の名称を列挙できる。
3	消化器系３	食道、胃、小腸、大腸 食道～大腸までの部位の名称を列挙できる。
4	消化器系４	肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜 肝臓、胆嚢、膵臓について説明できる。　腹膜について説明できる。
5	泌尿器系	腎臓、尿路 腎臓、尿路の部位の名称を列挙できる。　泌尿器系の構造を説明できる。
6	生殖器系１	男性生殖器 男性生殖器の部位の名称を列挙できる。　男性生殖器について説明できる。
7	生殖器系２	女性生殖器 女性生殖器の部位の名称を列挙できる。　女性生殖器について説明できる。
8	生殖器系３	受精と発生 受精と発生について説明できる。
9	内分泌系	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、性腺 各内分泌器官の説明ができる。
10	復習	予備日、復習問題
11	試験	試験
12	予備日	試験問題の解説と復習

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	神経系１	中枢神経系（１）脊髄、脳幹 中枢神経系の部位を列挙できる。
2	神経系２	中枢神経系（２）間脳・大脳 間脳、大脳の説明ができる。
3	神経系３	中枢神経系（３）脳室系、髄膜、脳脊髄液、脳の血管 脳脊髄液の流路について説明できる。　脳の血管の名称を列挙できる。
4	神経系４	伝導路（１）反射路・下行性伝導路 反射路、下行性伝導路の名称を列挙できる。
5	神経系５	伝導路（２）上行性伝導路 上行性伝導路の名称を列挙できる。
6	神経系６	末梢神経系（１）脊髄神経 脊髄神経の名称を列挙できる。
7	神経系７	末梢神経系（２）脳神経・自律神経 脳神経の名称を列挙できる。　自律神経について説明できる。
8	感覚器系１	視覚器・味覚器 視覚器、味覚器の部位の名称を列挙できる。
9	感覚器系２	平衡聴覚器・嗅覚器 平衡聴覚器、嗅覚器の部位の名称を列挙できる。
10	復習	予備日、復習問題
11	試験	試験
12	予備日	試験問題の解説と復習

科目名【英】	生理学①【Physiology】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	土曜	時　限	1.2限

担当教員	杉本　公一郎	実務者経験	2009年～2015年　医療法人恵登久会　越川病院にて リハビリテーション室　室長として勤務 2016年　すぎもと鍼灸整骨院を開設

学習内容	人体の機能を知り、代謝や運動がどのように行われているのかを学習する。
到達目標	生理学の基礎となる細胞の構造・機能、物質の代謝や生体のリズムおよび免疫機序に対する知識を習得し更に神経系の調節機能、筋の構造と働き、運動や感覚機能の仕組みを理解し習得する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】解剖生理学　　【配布資料】あり
留意点 備　考	

成績評価	期末試験による100％評価

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	生理学の基礎①	■　生理学の特徴 ■　細胞の構造と働き
2	生理学の基礎②	■　物質代謝の仕組み ■　体液の組成と働き　　■　物質の移動
3	ホメオスタシスと生体リズム	■　ホメオスタシス ■　生体リズム
4	生体の防御機構①	■　生体の防御機構と免疫 ■　生体の防御機構に働く組織と因子
5	生体の防御機構②	■　免疫反応の分類 ■　炎症とアレルギー
6	神経①	■　神経系概論 ■　ニューロンの構造と働き　　■　神経線維の興奮と伝導
7	神経②	■　興奮の伝導と伝達
8	神経③	■　中枢神経系（脳幹・間脳）
9	神経④	■　中枢神経系（小脳・脊髄）
10	神経⑤	■　中枢神経系（大脳）
11	まとめ	
12	試験	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	神経⑥	■　末梢神経系（脳神経）
2	神経⑦	■　末梢神経系（脊髄神経）
3	内臓の自律神経性調節①	■　交感・副交感神経系
4	内臓の自律神経性調節②	■　自律神経伝達物質と受容体 ■　自律神経の中枢　■　自律神経反射
5	感覚①	■　感覚の一般 ■　体性感覚　表在感覚
6	感覚②	■　体性感覚　深部感覚
7	感覚③	■　内臓感覚
8	感覚④	■　痛みの抑制系
9	感覚⑤	■　特殊感覚　味覚　嗅覚　聴覚
10	感覚⑥	■　平衡感覚　視覚
11	まとめ	
12	試験	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	筋①	■　骨格筋の構造と働き ■　筋の収縮の仕組み
2	筋②	■　筋のエネルギー供給の仕組み ■　心筋と平滑筋の構造と働き
3	運動①	■　骨格筋の神経支配
4	運動②	■　運動の調節 ■　脊髄レベルの調整 ■　各種反射
5	運動③	■　脊髄レベルの調整　反射 ■　脳幹による運動調節 ■　小脳による調節
6	運動④	■　大脳基底核による調節 ■　大脳皮質による調節 ■　錐体路系と錐体外路系
7	臨床応用	■　実技を含めた、生理学の臨床応用
8	まとめ	
9	1学期復習	
10	2学期復習	

11	試験	
12	予備日	

科目名【英】	生理学②【Physiology】			必修/選択	必須	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	1学期：火曜 2学期：月曜 3学期：金曜	時　限	1学期：2限 2学期：1限 3学期：1限

担当教員	中村　沙樹	実務者経験	医療法人社団しおさき会 しおさき鍼灸施術所（2017年４月～2022年３月）

学習内容	正常な人間の身体のはたらき、機能を学ぶ。 生理学のなかでも第2章～第9章の内容(循環・呼吸など)について学ぶ。
到達目標	正常な人間の身体のはたらき、機能について説明ができる。 はり師きゅう師の国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学と関連させながら復習する。
使用教材	教科書『解剖生理学』（東洋療法学校協会編）　配布プリント
留意点 備　考	副教材として、生理学①の範囲の配布プリントを持参して受講することが望ましい。

成績評価	各章ごとに小テストを実施。小テスト30点満点に換算し、定期テスト70点満点に加算し評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	循環1	循環【血液の組成と働き】 循環の基本的な血液の働きについて説明ができる。
2	循環2	循環【血液の組成と働き】 赤血球・白血球・血小板・血漿の成分と機能について説明ができる。
3	循環3	循環【止血・血液型】 一次止血・二次止血について説明ができる。血液型について説明ができる。
4	循環4	循環【心臓血管系】 大循環と小循環の流れが説明できる。心臓の構造と働きについて説明ができる。
5	循環5	循環【刺激伝導系・心機能の調節】 刺激伝導系の流れが説明できる。心周期と心音について説明ができる。
6	循環6	循環【血液循環】 血管の構造と働きいついて説明ができる。
7	循環7	循環【循環調節】 血液循環の調節の仕組みについて説明ができる。
8	循環8	循環【リンパ系】 リンパの機能、生成と組成、リンパの輸送について説明ができる。
9	呼吸1	呼吸【呼吸器・換気とガス交換】 外呼吸と内呼吸について説明ができる。肺気量について説明ができる。
10	呼吸2	呼吸【呼吸運動と調節】 吸息と呼息について説明ができる。呼吸の反射性調節について説明ができる。
11	総復習	試験のために総復習を行う
12	試験	1学期試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	消化と吸収1	消化と吸収【構造と機能】 消化器系の機能について説明ができる。
2	消化と吸収2	消化と吸収【構造と機能】 消化酵素の種類と働きについて説明ができる。
3	消化と吸収3	消化と吸収【消化管の運動】 咀嚼・嚥下(第1相～第3相)まで説明ができる。胃・小腸・大腸の運動の説明ができる。
4	消化と吸収4	消化と吸収【消化液と吸収】 消化液とその働き、消化管ホルモンについて説明ができる。
5	消化と吸収5	消化と吸収【消化液と吸収】 各栄養素の吸収について説明ができる。
6	消化と吸収6	消化と吸収【肝臓の働き・摂食の調節】 肝臓、物質代謝について説明ができる。摂食の調節について説明できる。
7	代謝1	代謝【栄養素の働き】 栄養素の働きと、エネルギーの代謝について説明ができる。
8	代謝2	代謝【各栄養素の働きと代謝】 各栄養素の働きと代謝の仕組みについて説明ができる。
9	体温1	体温【体温調節】 体温の変動について説明ができる。熱産生と熱放散について説明ができる。
10	体温2	体温【発汗と調節】 発汗調節の仕組みについて説明ができる。
11	総復習	試験のための総復習を行う
12	試験	2学期試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	排泄1	排泄【腎臓の働き】 腎臓の働きと、腎循環について説明ができる。
2	排泄2	排泄【尿生成】 尿の生成の流れについて説明ができる。
3	排泄3	排泄【腎臓と体液の調節】 体液のｐｈ、浸透圧調節、体液量の調節について説明ができる。
4	排泄4	排泄【蓄尿と排尿】 膀胱と尿道の神経支配について説明ができる。
5	内分泌1	内分泌【ホルモンの特徴】 ホルモンの特徴と作用機序について説明ができる。
6	内分泌2	内分泌【ホルモンの種類とその働き】 視床下部と下垂体について説明ができる。
7	内分泌3	内分泌【ホルモンの種類とその働き】 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺のホルモンについて説明ができる。
8	内分泌4	内分泌【ホルモンの特徴】 膵臓・副腎・精巣・卵巣のホルモンについて説明ができる。
9	生殖・成長と老化1	生殖・成長と老化【生殖】 男性と女性の生殖器について説明ができる。性周期について説明ができる。
10	生殖・成長と老化2	生殖・成長と老化【成長と老化】 身体各部位の成長と細胞の老化について説明ができる。

11	試験	3学期試験
12	3学期まとめ	試験で間違えたところの解説ができる。

科目名【英】	医療概論 【Outline of Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	1年生	学　期	3学期	曜　日	金曜	時　限	2限

担当教員	太田　育夫	実務者経験	2000年～2002年　近畿大学医学部付属病院にて助手として従事 2002年～2003年　大阪府立中河内救急にてレジデントとして従事 2003年～2005年　東大阪市立総合病院にて医員として従事 2005年～2017年　近畿大学医学部付属病院にて講師として従事 2017年～　社会医療法人三和会永山病院にて救急部長として従事

学習内容	医学と医療の歴史・現代医学の現状・医の倫理について学ぶ。
到達目標	医学と医療の歴史・現代医学の現状・医の倫理について説明できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	東洋療法学校協会編　医療概論　配布資料
留意点 備　考	

成績評価	本試験100%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	医学史	教科書及びプリント資料を使用 医学の歴史の概要を学ぶ
2	医学史	教科書及びプリント資料を使用 医学の歴史の概要を学ぶ
3	医療とは①	医療の歴史 東洋医学と西洋医学
4	医療とは②	医療制度
5	医療とは③	倫理
6	日本の医療	日本の医療の現状〔医療保健制度を中心として〕
7	医療倫理①	医療者の倫理について
8	医療倫理②	医療者の倫理について
9	医療倫理③	医療倫理についてのディスカッション
10	まとめ	今学期の復習
11	試験	
12	予備日	

科目名【英】	衛生学・公衆衛生学①【Hygiene and Public Health】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	1年生	学　期	3学期	曜　日	土曜	時　限	1限2限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	わが国では、近年衛生状態および栄養状態の著しい向上と予防医学・治療医学の進展によって、公衆衛生学上の諸条件は整備されてきている。しかし他方では、環境汚染の拡大や社会的不安の増大など多様な問題が浮かび上がってきている。このような時代に即して、健康な生活を進めるには何が必要か、生活環境を、物理的、化学的、生物学的社会因子として考察し、その中の障害因子と疾病との関わりについて学ぶ。各社会集団における健康をめぐる問題点、健康を守るための社会的なシステムを学ぶ。地域、学校、産業、老人、母子など各分野での衛生、保健上の諸問題について理解を深め、衛生行政の仕組み、衛生統計、分野別保健、健康増進、環境衛生について学ぶ。
到達目標	わが国の社会情勢について理解し、主に健康をめぐる諸問題、行政とシステムについて説明ができる水準に達すること。かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達すること。

準備学習 時間外学習	講義後、講義で得た要点を『衛生学・公衆衛生学第2版』にて復習する。
使用教材	『衛生学・公衆衛生学第2版』鈴木庄亮、公益社団法人東洋療法学校協会 編集 （医歯薬出版）
留意点 備　考	講義中、まとめとしてはり師きゅう師国家試験で過去に出題された問題に触れる。

成績評価	本試験80％　小テスト20％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	第1章　公衆衛生の目的、衛生行政	[到達目標]衛生・公衆衛生の目的について・衛生行政の仕組みと組織体系について理解する。 保健所と市町村保健センターの役割を説明できる。
2	第2章　疾病の予防と健康管理	[到達目標]プライマリーヘルスケアの全体像と健康管理について理解する。 予防医学(1次、2次、3次)の具体的内容が説明できる。
3	第3章　ライフスタイルと健康	[到達目標]生活習慣に起因する危険因子について理解する。 食中毒について各型・種類について理解する。健康観について、近年見直されている健康生成論について知る。
4	第4章　環境と健康	[到達目標]気圏環境・大気汚染について理解する。 水圏環境・上水および下水・水質汚濁について理解する。 公害による健康被害について理解する。典型7公害について説明できる。4大公害の発生場所と原因・疾病の内容が説明できる。
5	第5章 産業保健 第6章 精神保健	[到達目標]労働衛生にかかわる現状と課題について理解する。労働衛生3管理が説明できる。職業病と原因となる環境因子について説明できる。精神保健にかかわる現状と課題について理解する。主な精神疾患の特徴、精神保健の入院医療の定義について説明できる。
6	第7章 母子保健	[到達目標]妊産婦と乳幼児の保健管理の課題について理解する。母子保健行政について理解する。我が国の母子保健の水準について説明できる。母子保健行政の具体例について説明できる。
7	第8章　成人・高齢者保健	[到達目標]高齢者保健の現状と問題点について理解する。 介護保険の対象者について説明できる。
8	第9章　感染症とその対策	[到達目標]感染症の3要因、感染源・感染経路・感受性の宿主の種類を理解する。 感染症新法に基づく分類1類～3類まで説明できる。

9	第10章　消毒法 第11章　疫学	[到達目標]消毒法の種類・方法・対象物について説明できる。 疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。
10	第12章　保健統計	[到達目標]我が国の衛生統計に関するげんじょうと変化・公衆衛生の問題点について理解する。 人口動態の5事象、平均余命とはなにか説明できる。
11	試験	試験
12	試験解答解説	試験返却　解答解説

科目名【英】	東洋医学概論①【Outline of Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	1年生	学　期	2.3学期	曜　日	火曜	時　限	1限

担当教員	一井　綾乃	実務者経験	1996年4月～鍼灸院所属、 1996年7月～2013年3月大阪医大付属病院麻酔科ペインクリニック所属

学習内容	東洋医学の基礎を学ぶ。
到達目標	東洋医学に携わるものとして理解しておくべき陰陽五行論、蔵象、病証などを学習し、実際の臨床に応用できる基礎知識を得る。

準備学習 時間外学習	
使用教材	教科書『東洋医学概論』（東洋療法学校協会）、プリント
留意点 備　考	毎回小テストを行う。

成績評価	各学期毎時間小テストを行う。その評価を20～30%、期末試験を70～80%で評価する。

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	陰陽学説	陰陽学説を学習し、理解できる。
2	五行学説	五行学説を学習し、理解できる。
3	五行色体表	五行色体表を学習し、理解できる。
4	生理物質1	気、血、津液、精について学習し、理解できる。
5	生理物質2	気、血、津液、精について学習し、理解できる。
6	蔵象1	五臓六腑、奇恒の腑、十二官について学習し、理解できる。
7	蔵象2	肝、心の蔵象を理解できる。
8	蔵象3	心、脾の蔵象を理解できる。
9	蔵象4	脾、肺の蔵象を理解できる。
10	蔵象5	肺、腎の蔵象を理解できる。
11	蔵象6	三焦の蔵象を理解できる。学期の復習
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	病証1	八綱病証について理解できる。
2	病証2	陰陽の病証について理解できる。
3	病証3	気、精の病証について理解できる。
4	病証4	血、津液の病証について理解できる。
5	病証5	肝の病証について理解できる。
6	病証6	心の病証について理解できる。
7	病証7	脾の病証について理解できる。
8	病証8	肺の病証について理解できる。
9	病証9	腎の病証について理解できる。
10	まとめ	３学期の復習
11	試験	試験
12	振り返り	3学期の内容を理解し、復習する。

科目名【英】	経絡経穴概論①【Outline of the Meridians and Acupuncture Point】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	木曜	時　限	1限

担当教員	駒井　知佳子	実務者経験	2009年4月～2014年6月不妊治療専門病院にて受胎鍼担当。 2014年4月桃の花針灸院開院。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】新版　経絡経穴概論
留意点 備　考	1．講義と取穴実技を行う。 実技では取穴しやすい服装を用意すること。お互いに尊重しあって行うこと。 2．出席は自分で管理すること。

成績評価	1学期：本試験60%　平常点40%。2学期：本試験50%　平常点50%。 平常点は授業中に行う小テスト＋経穴暗唱で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	導入／陰陽の概念	陰陽の概念
2	五臓六腑・五行説の概念	五臓六腑、五行説と経絡経穴の概念
3	骨度法	骨度法
4	督脈①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
5	督脈②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
6	任脈	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
7	手太陰肺経	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
8	手陽明大腸経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
9	手陽明大腸経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
10	触察取穴テストI	
11	触察まとめ	体幹、上肢の触察
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	足陽明胃経胃経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
2	足陽明胃経胃経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
3	足陽明胃経胃経③	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
4	足太陰脾経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
5	足太陰脾経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
6	手少陰心経	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
7	手太陽小腸経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
8	手太陽小腸経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
9	触察練習	触察取穴テスト練習
10	触察取穴テストⅡ	
11	触察まとめ	足の陽明胃経～手の太陽小腸経の触察
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	足太陽膀胱経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
2	足太陽膀胱経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
3	足太陽膀胱経③	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
4	足少陰腎経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
5	足少陰腎経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
6	手厥陰心包経	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
7	手少陽三焦経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
8	手少陽三焦経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
9	触察取穴テストⅢ	
10	触察まとめ	
11	試験	試験
12	テスト返却	解答と解説

科目名【英】	はりきゅう理論①【Scientific Foundation of Acupuncture】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	1年生	学　期	1学期	曜　日	土曜	時　限	1,2限

担当教員	冨倉　捷矢	実務者経験	2018年4月～2021年3月　機能訓練士としてデイサービスに所属 2021年4月～2022年3月　鍼灸整骨院に所属　その後開業

学習内容	はり術、きゅう術の基礎を学ぶとともに様々な鍼灸の治療法を学ぶ
到達目標	□　はりきゅう治療の適応・不適応および消毒の概念の習得 □　基礎的なはりきゅう治療の知識の習得 □　伝統的なはりきゅう治療法の知識の習得

準備学習 時間外学習	はりきゅう理論の教科書を事前に読んでおく
使用教材	【教科書】はりきゅう理論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	なし

成績評価	各学期に2回小テストを実施。期末試験70％＋小テスト20％＋出席点10％で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	第1章　概論 第2章　鍼の基礎知識	■　鍼灸の歴史と鍼灸に必要な古代思想 ■　毫鍼の各部の名称 目標：鍼灸の歴史・古代思想と毫鍼の各部名称を理解する。
2	第2章　鍼の基礎知識	■　鍼の太さと長さの基準 ■　鍼先の形状と特徴・鍼の材質と特徴・鍼管の材質と特徴 目標：鍼の太さと長さ・形状・材質・鍼管の材質の特徴を理解する。
3	第2章　鍼の基礎知識	■　古代九鍼の種類と特徴 目標：古代九鍼を理解する。
4	第3章　刺鍼の方式と術式	■　刺鍼の方式〔撚鍼法・打鍼法・管鍼法〕 ■　刺鍼の術式〔揉撚法・押手・刺手・切皮・刺入法・刺鍼の角度〕 目標：刺鍼の方式・術式を理解する。
5	第3章　刺鍼の方式と術式	■　刺鍼中の手技〔現行17手技〕 目標：17手技を理解する。
6	第4章　特殊鍼法	■　小児鍼・皮内鍼・円皮鍼・灸頭鍼 目標：小児鍼・皮内鍼・円皮鍼・灸頭鍼を理解する。
7	第4章　特殊鍼法	■　低周波鍼通電療法・耳鍼・レーザー鍼・頭鍼療法・イオン鍼・刺絡 目標：低周波鍼通電療法・耳鍼・レーザー鍼・頭鍼療法・イオン鍼・刺絡を理解する。
8	第5章　灸の基礎知識	■　艾について〔原料・成分・品質〕・線香 目標：艾・線香について理解する。
9	第6章　灸術の種類	■　有痕灸〔透熱灸・焦灼灸・打膿灸〕の概要 ■　無痕灸〔知熱灸・温灸・隔物灸・艾を使用しない灸法〕のそれぞれの概要と種類 目標：有痕灸・無痕灸を理解する。

10	第7章　鍼灸の臨床応用	■　はりきゅうの刺激量　■　個体(患者)の感受性 ■　鍼灸療法の適応と禁忌 目標：はりきゅうの刺激・個体の感受性・鍼灸療法の適応と禁忌を理解する。
11	復習・まとめ	振り返り・まとめ 目標：本学習の内容について確認をする。
12	定期試験	定期試験 目標：本学習の内容について修得している。

科目名【英】	はりきゅう実技①～基礎はり実技～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	水曜	時　限	1限

担当教員	林　眞早	実務者経験	2013年2月～　治療院開業

学習内容	鍼灸師になるために必要な鍼施術の基礎を学び、刺鍼の基礎技術を修得することを目的とする。
到達目標	前期は刺鍼操作の基礎である片手挿管法の習得および正確な下腿・前腕の経穴の取穴と刺鍼法の習得。後期は身体各部の主要経穴の取穴法と経穴部位への指示された刺入深度に旋撚法および送り込み刺法で直刺・斜刺・横刺の刺入ができ、雀啄術と刺鍼転向法の習得を目標とする。

準備学習 時間外学習	自主練習が必要。
使用教材	【教科書】はりきゅう実技
留意点 備　考	実技では学生同士で身体に触れて取穴や施術を行います。取穴しやすい服装で。お互いを尊重し合って行うこと。

成績評価	実技試験50％＋平常点50％で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	導入	自己紹介・授業内容・評価方法・督脈の棘突起確認
2	鍼灸臨床導入	鍼灸臨床にあたって施術室の管理、患者の体位、安全性、医療過誤において知る（はりきゅう実技基礎）、棘突起確認
3	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標（仙骨裂孔、ヤコビー線、棘突起、肩甲骨）。片手挿管操作の練習。板上施灸の練習。
4	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標（脛骨内側顆、膝蓋骨尖、内果、外果）とそれに基づく経穴取穴。片手挿管操作の練習。板上施灸の練習。
5	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標（胸骨、脛骨内側顆、膝蓋骨尖、内果、外果）とそれに基づく経穴取穴。片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。
6	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標（上腕骨外側上顆・外側上顆）とそれに基づく経穴取穴。片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。
7	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標（胸骨）とそれに基づく経穴取穴。片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習（タイムトライアル）。
8	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標（仙骨）とそれに基づく経穴取穴。片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習（タイムトライアル）。
9	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標とそれに基づく経穴取穴復習。片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習（タイムトライアル）。
10	体表観察 基礎術式練習	骨度法に基づく身体指標とそれに基づく経穴取穴復習。片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習（タイムトライアル）。
11	試験	
12	試験	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	下腿への刺鍼①	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 足三里穴の取穴法と刺鍼→直刺90°刺入1.5㎝
2	下腿への刺鍼②	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 陽陵泉穴・地機穴の取穴法と刺鍼→直刺90°刺入1.5㎝
3	前腕への刺鍼①	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 曲池穴の取穴法と刺鍼→直刺90°刺入1～1.5㎝
4	前腕への刺鍼②	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 合谷穴の取穴法と刺鍼→直刺90°刺入1～1.5㎝
5	各部の刺鍼①	【手指部･手関節部】送り込み刺法・旋撚法 中渚・陽池
6	各部の刺鍼②	【前腕部】送り込み刺法・旋撚法 内関・外関
7	各部の刺鍼③	【肘関節部】送り込み刺法・旋撚法 尺沢・曲沢
8	各部の刺鍼④	【足指部】と【足関節部周囲】送り込み刺法・旋撚法 太衝・足臨泣・崑崙
9	直刺・斜刺・横刺	刺入角度による押手の決め方の相違点および送り込み刺法 雀啄術と刺鍼転向法
10	復習	試験内容確認
11	試験	
12	試験	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	各部の刺鍼⑤	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【膝関節部周囲】送り込み刺法・旋撚法　→　血海・梁丘
2	各部の刺鍼⑥	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【下腿部前側･外側】送り込み刺法・旋撚法　→　豊隆・懸鍾
3	各部の刺鍼⑦	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【下腿部後側･内側】送り込み刺法・旋撚法　→　三陰交・陰陵泉・承山
4	各部の刺鍼⑧	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【腰部】送り込み刺法・旋撚法　→　腎俞・志室・大腸俞
5	各部の刺鍼⑨	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【仙骨部】送り込み刺法・旋撚法　→　次髎 棒灸
6	各部の刺鍼⑩	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【背部】送り込み刺法・旋撚法　→　身柱・肺俞 しょうが灸・ニンニク灸
7	各部の刺鍼⑪	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【頭部と後頸部】送り込み刺法・旋撚法　→　百会・天柱・風池 塩灸
8	各部の刺鍼⑫	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【腹部】送り込み刺法・旋撚法　→　天枢・関元

9	各部の刺鍼⑬	片手挿管操作の練習（タイムトライアル）。板上施灸の練習。 【肩部】送り込み刺法・旋撚法　→　肩井・天宗
10	試験	
11	試験	
12	予備日	【顔面部】送り込み刺法・旋撚法　→　下関・攅竹・聴会・四白 箱灸

1学年での刺鍼実技に使用する経穴について

前期	下腿	足三里・地機・陽陵泉	
	前腕	合谷・曲池	
後期	上肢	中渚・陽池・内関・外関・尺沢・曲沢	
	下肢	血海・梁丘・三陰交・陰陵泉・承山・太衝・足臨泣・崑崙・豊隆・懸鐘	
	体幹	頭　部 後頚部	百会・天柱・風池
		顔面部	下関・攅竹・聴会・四白
		腹　部	天枢・関元
		背　部	身柱・肺兪
		腰　部 仙骨部	腎兪・志室・大腸兪・次髎
		肩　部	肩井・天宗

科目名【英】	はりきゅう実技②～基礎きゅう実技～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	1学期：水曜 2.3学期：木曜	時　限	2限

担当教員	駒井　知佳子	実務者経験	2009年4月～2014年6月不妊治療専門病院にて受胎鍼担当。 2014年4月桃の花針灸院開院。

学習内容	身体に安全かつ有効な施灸ができるように、技術を学ぶ。
到達目標	1学期：紙上施灸・板状施灸がおこなえる。 2学期：安全に身体施灸をおこなえる。 3学期：身体施灸の応用をおこなえる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	実技道具、【教科書】はりきゅう実技、図解施灸基礎実践マニュアル、
留意点 備　考	服装など規定の準備をしておくこと。

成績評価	本試験50%　平常点50%（中間試験とレポート作成等）

授業計画【内容･目標】		
1	導入	灸術と授業内容の説明
2	練習道具作成	施灸板、艾炷模型の作製説明
3	艾炷作製１	艾を棒状にする、摘む、立てる
4	艾炷作製２	艾炷に着火する
5	艾炷作製３	艾炷作製～着火まで一通りできるようになる
6	施灸基礎１	紙上施灸開始
7	施灸基礎２	消火の練習
8	施灸基礎３	自身に施灸する
9	施灸基礎４	他者に施灸する
10	期末試験練習	期末試験の説明と練習
11	期末試験１	板上施灸、紙上施灸
12	期末試験２	板上施灸、紙上施灸

授業計画【内容･目標】		
1	身体施灸初級１	心地よい消火の練習
2	身体施灸初級２	治療の流れを身につける（印付けから消毒まで）
3	身体施灸初級３	半米粒大の作製と施灸
4	身体施灸中級１	仰臥位での施灸
5	身体施灸中級２	伏臥位での施灸
6	身体施灸中級３	腰部への施灸
7	鍼体施灸中級４	伏臥位での施灸（主に腰背部）
8	身体施灸上級１	腰痛の施灸
9	身体施灸上級２	腰痛の施灸
10	期末試験練習	期末試験の説明と練習
11	期末試験１	板上施灸、紙上施灸、身体施灸
12	期末試験２	板上施灸、紙上施灸、身体施灸

授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習前実技１	ディスカッションとレポート作成　テーマ：マナー
2	身体施灸応用１	澤田流太極療法１
3	身体施灸応用２	澤田流太極療法２
4	臨床実習前実技２	ディスカッションとレポート作成　テーマ：守秘義務
5	身体施灸応用３	乱取り施灸１
6	身体施灸応用４	乱取り施灸２
7	臨床実習前実技３	ディスカッションとレポート作成　テーマ：シュミレーション
8	期末試験練習１	期末試験の説明と練習
9	期末試験練習２	期末試験の説明と練習　および　板状試験（前倒し実施）
10	期末試験１	紙上施灸、身体施灸
11	期末試験２	紙上施灸、身体施灸
12	期末試験まとめ	総括と追再試験

科目名【英】	はりきゅう実技③～基礎はりきゅう実技～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必須	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	2
学　年	1年生	学　期	通年	曜　日	1学期：火 2学期：金 3学期：月	時限	13学期：1限 2学期：2限

担当教員	中村沙樹	実務者経験	医療法人社団汐咲会　しおさき鍼灸施術所　など　11年

学習内容	はり・きゅう施術を適切に行うために不可欠な技術を習得するための基本操作・技術を習得する。
到達目標	１学期：道具の扱いを覚え、片手挿管とはり枕への刺鍼が行える ２学期：指定された深さ・角度で人体への刺鍼が行える ３学期：全身に安全な深さ角度で刺鍼が行える

成績評価	実技試験１００％

１学期　授業計画【内容･目標】		
1	プロローグ	道具の説明、実習科目ガイドラインの説明、実技室の使い方など
2	押手と 片手挿管	押手と片手挿入の動きの確認。
3	切皮弾入 片手挿管	前回の復習と切皮・弾入動作の確認、片手挿管の練習
4	刺入と 片手挿管	前回の復習と鍼の刺入（送り込み・旋撚刺入）
5	施術準備 片手挿管	前回の復習と施術準備の導入（手洗い、道具準備、手指消毒など）
6	片手挿管の 中間試験	片手挿管の中間試験　正しい動きで片手挿管ができているか
7	消毒と 刺鍼の流れ	５コマ目の復習と施術野の消毒操作、刺鍼の一連の流れ
8	角度を 変えた刺入	前回の復習と角度を変えた刺鍼（斜刺、横刺）
9	総復習	１学期の総復習
10	試験練習	１学期試験の練習
11	試験	1学期試験
12	試験	１学期試験

２学期　授業計画【内容･目標】		
1	１学期の 復習	１学期に学習したことを復習し、次の自分への刺鍼に備えて刺鍼部位の確認や消毒の手順を確認する
2	自分への 刺鍼	自身への刺鍼を行う。痛みのない押手、切皮弾入動作の確認
3	角度を 変えた刺鍼	前回の復習と様々な角度で自身への刺鍼と刺入を行う
4	中間試験の 練習	自身への刺鍼の練習
5	中間試験	自身への刺鍼の中間試験を行う
6	消毒の確認 相手への刺鍼	消毒手順や押手・切皮弾入動作を確認し、ペア相手への刺鍼を行う
7	相手への刺鍼	前回の復習とペア相手への刺鍼の練習を行う。深さ・角度の確認
8	相手への刺鍼	前回の復習と指定された場所・深さ・角度での刺鍼が行えているかを確認
9	総復習	２学期の総復習
10	試験練習	２学期試験の練習
11	試験	２学期の定期試験
12	試験	２学期の定期試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	上肢への刺鍼	上肢の経穴に安全に刺鍼できるようになる
2	上肢への刺鍼	上肢の経穴に安全に刺鍼できるようになる
3	下肢への刺鍼	下肢の経穴に安全に刺鍼できるようになる
4	下肢への刺鍼	下肢の経穴に安全に刺鍼できるようになる
5	腰部への刺鍼	腰部の経穴に安全に刺鍼できるようになる
6	腰部への刺鍼	腰部の経穴に安全に刺鍼できるようになる
7	肩背部の刺鍼	肩背部の経穴に安全に刺鍼できるようになる
8	総復習	3学期の総復習
9	総復習	3学期の総復習
10	試験	3学期の定期試験
11	試験	3学期の定期試験
12	エピローグ	1年間の振り返り

科目名【英】	解剖生理学【Anatomy and Physiology】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	木曜日	時　限	1限

12学期 担当教員	坂井　優志	1 2学期 実務者経験	金沢武士団鍼灸整骨院　1年間勤務 まえいけ整骨院　1年半勤務
3学期 担当教員	杉本　公一郎	3学期 実務者経験	2009年～2015年　医療法人恵登久会　越川病院にて リハビリテーション室　室長として勤務。 2016年　すぎもと鍼灸整骨院を開設。

学習内容	一年時に学んだ解剖学と生理学を紐付けすることで、改めて一つの学問として学ぶ。
到達目標	解剖学と生理学の両分野を統合した医学知識を体系的に説明できるようになる。

準備学習 時間外学習	一年時の解剖学、生理学を復習しておく。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参し受講することが望ましい。

成績評価	期末試験による100％評価

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	呼吸器系①	呼吸器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
2	呼吸器系②	呼吸器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
3	呼吸器系③	呼吸器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
4	消化器系①	消化器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
5	消化器系②	消化器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
6	消化器系③	消化器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
7	泌尿器系①	泌尿器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
8	泌尿器系②	泌尿器　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
9	体温①	体温　　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
10	体温②	体温　　〔解剖生理〕 構造・機能について説明できる
11	試験	

12	まとめ	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	循環①	【血液総論】血液の組成・造血 解剖生理学の基礎をふまえながら総合的に理解し説明することができる。
2	循環②	【心臓血管系】心臓の解剖・心周期 解剖生理学の基礎をふまえながら総合的に理解し説明することができる。
3	循環③	【血液循環】血管の分類・走行・静脈還流 解剖生理学の基礎をふまえながら循環の全体像を総合的に理解し説明することができる。
4	循環④	【循環調節】心拍数・血圧・調節の仕組み 解剖生理学の基礎をふまえながら総合的に理解し説明することができる。
5	消化器系①	【消化器概論】消化器系とは何か、消化管壁の構造 消化器系の全体像を理解し、構造と機能を総合的に理解し、説明することができる。
6	消化器系②	【口腔・胃】構造と機能 それぞれの構造と機能の違いを理解し、説明することができる。
7	消化器系③	【小腸・大腸】構造と機能 それぞれの構造と機能の違いを理解し、説明することができる。
8	消化器系④	【膵臓・肝臓】構造と機能 それぞれの構造と機能の違いを理解し、説明することができる。
9	生殖器①	【生殖概論・男性生殖器】構造と機能 構造と機能を理解し、説明することができる。
10	生殖器②	【女性生殖器】構造と機能、性周期 構造と機能を理解し、性周期と合わせて説明することができる。
11	まとめ	
12	試験	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	神経の機能と構造	神経の機能や構造、活動電位、興奮伝導や伝達について学び、それらを説明できるようになる。
2	中枢神経について①	大脳と間脳について学び、それらを説明できるようになる。
3	中枢神経について②	脳幹と脊髄について学び、それらを説明できるようになる。
4	末梢神経について①	脳神経について学び、それらを説明できるようになる。
5	末梢神経について②	脊髄神経について学び、それらを説明できるようになる。
6	自律神経について①	交感神経と副交感神経について学び、それらを説明できるようになる。
7	自律神経について②	自律神経の中枢と関連する反射を含めて学び、それらを説明できるようになる。
8	運動	運動の伝導路について学び、それらを説明できるようになる。
9	感覚	感覚の伝導路について学び、それらを説明できるようになる。
10	特殊感覚	味覚、嗅覚、聴覚、平衡感覚、視覚について学び、それらを説明できるようになる。

11	試験	試験
12	予備日	試験の振り返り・鍼灸実技（テーマ：神経）

科目名【英】	病理学概論【Outline of Pathology】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	1.2学期	曜　日	火曜日	時　限	2限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	「あ、は、き法」により定められた教科ガイドラインに基づく病理学概論は、病理学総論に相当する。 病理学は解剖学・生理学・生化学をはじめとする人体の正常状態を扱う基礎医学と具体的な疾患の診断・治療に携わる臨床医学を橋渡す位置にある学問であり、疾病によっておこる様々な変化を通じ、病気の発症機序（疾病の原因、経過）と転機について探究する学問である。肉眼的・顕微鏡的形態変化の基盤に、疾病を理解し、その発症メカニズムを学習する。また、講義のなかで演習問題も行なう
到達目標	各種疾病の発症機序を説明できる水準に到達すること。かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達すること。

準備学習 時間外学習	講義後、講義で得た要点を『病理学概論第2版』にて復習する。
使用教材	『病理学概論第2版』滝澤登一郎　編集　公益社団法人東洋療法学校協会(医歯薬出版) 『標準病理学第6版』北川晶伸　(医学書院) 『系統看護学講座　専門基礎分野　病理学第5版』大橋健一(医学書院)
留意点 備　考	講義中、まとめとしてはり師きゅう師国家試験で過去に出題された問題に触れる。

成績評価	平常点30％期末試験70％で評価する。

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	第1章　病理学とは	[到達目標]病理学における、基礎医学的、臨床医学的役割を理解する。疾病の意義と分類について理解する。
2	第2章　疾病の一般	[到達目標]疾病の定義と分類について説明できる。
3	第3章　病因(1)	[到達目標]病因(内因と外因)について理解する。
4	第3章　病因(2)	[到達目標]病因(内因と外因)について理解する。
5	第4章　循環障害(1)	[到達目標]充血・うっ血・虚血・貧血・出血などの定義・原因・分類について理解する。
6	第4章　循環障害(2)	[到達目標]ショックの定義・分類・症状について理解する。
7	第4章　循環障害(3)	[到達目標]血栓・血栓症、塞栓・塞栓症・梗塞・浮腫についてそれぞれ定義・原因・結果ついて理解する。
8	第5章　代謝障害(1)	[到達目標]退行性・進行性病変について、萎縮・変性・壊死のそれぞれの定義・分類について説明できる。アポトーシスの定義について説明できる。死の定義・判定、死後の変化について知る。
9	第5章　代謝障害(2)	[到達目標]退行性・進行性病変について、萎縮・変性・壊死のそれぞれの定義・分類について説明できる。アポトーシスの定義について説明できる。死の定義・判定、死後の変化について知る。
10	第5章　代謝障害(3)	[到達目標]退行性・進行性病変について、萎縮・変性・壊死のそれぞれの定義・分類について説明できる。アポトーシスの定義について説明できる。死の定義・判定、死後の変化について知る。

11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	第6章　代謝障害Ⅱ(1)	[到達目標]脂質代謝障害・蛋白質代謝障害について具体的に動脈硬化症・高脂血症などの機序について学ぶ。痛風・アミロイドｰシスなどについてその機序について学ぶ。
2	第6章　代謝障害Ⅱ(2)	[到達目標]脂質代謝障害・蛋白質代謝障害について具体的に動脈硬化症・高脂血症などの機序について学ぶ。痛風・アミロイドｰシスなどについてその機序について学ぶ。糖質代謝障害(糖尿病など)・色素代謝障害(黄疸)・無機質代謝障害(結石症)の機序について理解する。
3	第6章　代謝障害Ⅱ(3)	[到達目標]糖質代謝障害(糖尿病など)・色素代謝障害(黄疸)・無機質代謝障害(結石症)の機序について理解する。
4	第7章　炎症(1)	[到達目標]炎症の5徴・炎症の経過・再生・創傷治癒・炎症の各型について説明できる。
5	第7章　炎症(1)	[到達目標]炎症の5徴・炎症の経過・再生・創傷治癒・炎症の各型について説明できる。
6	第9章　　免疫・アレルギー(1)	[到達目標]免疫の基礎的仕組みについて理解する。免疫担当細胞・液性免疫・細胞性免疫・免疫不全についてその機序、代表的な疾患について説明できる。
7	第9章　　免疫・アレルギー(2)	[到達目標]免疫の基礎的仕組みについて理解する。免疫担当細胞・液性免疫・細胞性免疫・免疫不全についてその機序、代表的な疾患について説明できる。アレルギー(Ⅰ～Ⅳ型)・自己免疫疾患・移植免疫についてその機序、代表的な疾患について説明できる。
8	第8章　腫瘍(1)	[到達目標]腫瘍の定義・腫瘍の分類(良性と悪性・上皮性と非上皮性)を説明できる。 悪性腫瘍と良性腫瘍の違いについて(異型・構造・分化度・悪性度・発育形成・発育速度など)説明できる。悪性腫瘍の転移と進行度について理解する。
9	第8章　腫瘍(2)	[到達目標]　　発癌理論を学ぶ。腫瘍の発生原因(内因・外因)について説明できる。腫瘍の診断と治療について概略を学ぶ。
10	第10章　先天性異常	[到達目標]先天性異常の原因と分類について説明できる。 奇形の原因・分類について説明できる。遺伝性疾患(単因子遺伝疾患・多因子遺伝疾患)について説明できる。染色体異常による疾患(常染色体異常・性染色体異常)について代表的な例を説明できる。
11	まとめ	まとめ
12	試験解説	試験

科目名【英】	臨床医学総論①【Clinical Medicine in General】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：水曜 2学期：水曜 3学期：月曜	時　限	1学期2限 2学期2限 3学期2限

担当教員	真田 浩二	実務者経験	2000年4月～2002年3月　鍼灸院に所属 往診および鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約5回小テスト実施。期末試験80％＋小テスト20％で評価。再試験は試験100％、小テストは含まない。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	導入	基礎医学と臨床医学。臨床医学総論と各論。授業の進め方と試験・評価。
2	診断学概要	診察の意義　診療のプロセス　診察の概要　診察の方法 身体診察【身体診察の進め方　身体診察の方法　生命徴候】
3	診断学 全身状態の診察1	顔貌の診察と関連疾患【先端巨大症・下垂体腺腫・副腎皮質の疾患1】
4	診断学３	顔貌の診察と関連疾患【副腎皮質の疾患2】
5	診断学４	顔貌の診察と関連疾患【甲状腺の疾患】
6	診断学５	顔貌の診察と関連疾患【破傷風・パーキンソン病1】
7	診断学６	顔貌の診察と関連疾患【パーキンソン病2】 精神状態の診察と関連疾患【意識状態・感情・協調性・見当識・知能】
8	診断学７	精神状態の診察と関連疾患【アルツハイマー型認知症・脳血管性認知症・レビー小体型認知症】
9	診断学８	精神状態の診察と関連疾患【ピック病・進行性核上性麻痺・球麻痺・梅毒1】
10	診断学９	精神状態の診察と関連疾患【梅毒2】
11	試験説明 診断学10	精神状態の診察と関連疾患【クロイツフェルトヤコブ病】 体格の診察と関連疾患　巨人症【マルファン症候群・大動脈瘤】
12	試験	1学期試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	診断学11	体格の診察と関連疾患巨人症【大動脈解離・ホルネル症候群・反回神経麻痺】
2	診断学12	体格の診察と関連疾患　巨人症【心臓弁膜症】
3	診断学13	体格の診察と関連疾患　巨人症【心不全・リウマチ熱・心房細動】
4	診断学14	体格の診察と関連疾患　巨人症【大動脈解離・ホルネル症候群・反回神経麻痺】
5	診断学15	体格の診察と関連疾患　巨人症【心臓弁膜症】
6	診断学16	体格の診察と関連疾患　巨人症【心不全・リウマチ熱・心房細動】
7	診断学17	体格の診察と関連疾患　巨人症【動脈硬化症・大動脈炎症候群】 体格の診察と関連疾患　小人症【下垂体機能低下症】
8	診断学18	体格の診察と関連疾患　小人症【ターナー症候群・軟骨無形成症・くる病/骨軟化症】
9	診断学19	栄養状態の診察と関連疾患　肥満【インスリノーマ・クラインフェルター症候群】 栄養状態の診察と関連疾患　るいそう・やせ
10	診断学20	栄養状態の診察と関連疾患　るいそう・やせ【甲状腺ホルモン過剰・アジソン病】
11	試験説明 診断学21	栄養状態の診察と関連疾患　るいそう・やせ【褐色細胞腫】
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	診断学22	体位/姿勢の診察と関連疾患【気管支喘息】
2	診断学23	体位/姿勢の診察と関連疾患【髄膜炎・頭蓋内圧亢進】
3	診断学24	体位/姿勢の診察と関連疾患【髄膜刺激症状】 歩行の診察と関連疾患【バージャー病・閉塞性動脈硬化症】
4	診断学25	歩行の診察と関連疾患【下垂足/尖足・筋ジストロフィー】
5	診断学26	歩行の診察と関連疾患【多発性筋炎/皮膚筋炎・膠原病】
6	診断学27	歩行の診察と関連疾患【重症筋無力症・発育性股関節形成不全】
7	診断学28	歩行の診察と関連疾患【レイノー現象・運動失調1】
8	診断学29	歩行の診察と関連疾患【運動失調2・脊髄小脳変性症・多発性硬化症】
9	診断学30	言語の診察と関連疾患【失声症・構音障害・失語症】
10	診断学31	皮膚・粘膜・皮下組織の診察と関連疾患【貧血・ショック】
11	試験	3学期試験

12	試験振り返り 診断学32	皮膚・粘膜・皮下組織の診察と関連疾患【敗血症・チアノーゼ・ファロー四徴症】

科目名【英】	臨床医学各論① 【Clinical Medicine Part】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期:月曜 2学期:金曜 3学期:火曜	時　限	1学期:2限 2学期:1限 3学期:2限

1学期 担当教員	山口　隆平	1学期 実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念・疫学・病因・病態生理・症状・診断・治療などをそれぞれ理解する。
到達目標	臨床の場において、実際に活用できるレベルかつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とする。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】臨床医学各論、配布資料
留意点 備　考	

成績評価	1学期評価：定期試験70％＋小テスト30％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	感染症	総論　細菌感染症〔猩紅熱・百日咳・ジフテリア・破傷風〕
2	感染症	細菌感染症〔ブドウ球菌感染症・細菌性食中毒・細菌性赤痢・コレラ・腸チフス・パラチフス〕
3	感染症	ウイルス感染症〔インフルエンザ・麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎〕
4	感染症	性感染症〔梅毒・淋病・性器クラミジア感染症・エイズ〕
5	膠原病	リウマチ　SLE　全身性硬化症
6	膠原病	ベーチェット病～血清病
7	代謝性疾患	糖代謝異常　脂質代謝異常
8	代謝性疾患	尿酸代謝異常　その他の代謝異常
9	その他の領域①	婦人科疾患〔子宮頚癌・子宮体癌・乳癌・更年期障害・月経異常〕
10	その他の領域②	眼科疾患〔結膜炎・角膜炎・麦粒腫・白内障・緑内障・眼精疲労〕
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

2 3学期 担当教員	今井　亜里紗	2・3学期 実務者経験	2020年4月～2026年3月　鍼灸院に所属

学習内容	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念・疫学・病因・病態生理・症状・診断・治療などをそれぞれ理解する。
到達目標	臨床の場において、実際に活用できるレベルかつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とする。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】臨床医学各論、配布資料
留 意 点 備　　考	

成績評価	2・3学期評価：定期試験70％＋小テスト30％

授業計画【内容･目標】		
1	呼吸器1	呼吸器系の解剖生理学の言葉を列挙できる。 呼吸機能について説明できる。
2	呼吸器2	呼吸器【呼吸器感染症】 呼吸器系に起きる感染症について説明ができる。
3	呼吸器3	呼吸器【閉塞性・拘束性呼吸器疾患】 COPDや拘束性呼吸器疾患について説明ができる。
4	呼吸器4	呼吸器【肺がん】 肺がんについて説明できる。
5	内分泌1	内分泌器官のフィードバック機構について説明ができる。
6	内分泌2	内分泌【下垂体疾患】 クッシング病、先端巨大症・巨人症について説明ができる。
7	内分泌3	内分泌【下垂体疾患】 下垂体性低身長症、尿崩症について説明ができる。
8	内分泌4	内分泌【甲状腺疾患】 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎について説明できる。
9	内分泌5	内分泌【副腎疾患】 副腎皮質機能亢進症、原発性アルドステロン症について説明ができる。
10	内分泌6	内分泌【副腎疾患】 副腎皮質機能低下症、褐色細胞腫について説明ができる。
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	腎・尿器疾患	腎臓と副腎の解剖生理
2	腎・尿器疾患	原発性糸球体腎炎〔糸球体腎炎・腎不全〕、性感染症
3	腎・尿器疾患	腫瘍性疾患〔腎腫瘍・膀胱がん〕、前立腺疾患〔前立腺肥大・前立腺がん〕、結石症〔腎・尿路結石〕

4	腎・尿器疾患	男性不妊症〔乏精子症・精子無力症〕、男性性機能〔勃起障害〕
5	神経疾患	脳血管疾患〔脳梗塞・脳出血〕、認知症〔アルツハイマー・脳血管型認知症〕、感染性疾患
6	神経疾患	脳・脊髄腫瘍〔脳腫瘍・脊髄腫瘍〕、基底核変性疾患〔パーキンソン病〕
7	神経疾患	筋疾患〔重症筋無力症・筋ジストロフィー〕、運動ニューロン疾患〔筋萎縮性側索硬化症〕
8	神経疾患	末梢神経性疾患〔ギランバレー症候群・上肢と下肢の神経障害・末梢性顔面神経麻痺〕
9	神経疾患	神経痛〔三叉神経痛・肋間神経痛・坐骨神経痛・後頭神経痛〕、機能性疾患〔頭痛〕
10	復習	腎・尿器疾患と神経疾患の復習
11	試験	試験
12	試験解説・まとめ	試験解説とまとめ

科目名【英】	臨床医学各論② 【Clinical Medicine Part】			必修/選択	必須	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	3学期	曜　日	金曜日	時　限	2限目

担当教員	嶋田　琢磨	実務者経験	2010年～2012年：鍼灸整骨院に勤務し鍼灸治療を行う 2020年～：訪問鍼灸院を開業し鍼灸治療を行う

学習内容	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念・疫学・病因・病態生理・症状・診断・治療などをそれぞれ理解する。
到達目標	各整形外科疾患を理解し、はり師、きゅう師国家試験の問題から正しい解答を選ぶことができる。

準備学習 時間外学習	解剖学、生理学の復習を行うこと
使用教材	【教科書】臨床医学各論、配布資料
留意点 備　考	特になし

成績評価	定期試験100％で評価する

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	整形外科疾患①	総論〔保存的治療と手術的治療・画像診断〕 関節疾患〔関節炎・関節の可動域の異常・五十肩〕 各関節疾患の特徴を説明できる。
2	整形外科疾患②	関節疾患〔変形性関節症〕筋・腱疾患〔筋肉炎・筋膜炎・腱鞘炎〕 各関節疾患、各筋・腱疾患の特徴を説明できる。
3	整形外科疾患③	骨代謝性疾患、骨腫瘍〔骨粗しょう症・くる病・骨軟化症・骨腫瘍〕 形態異常〔先天性股関節脱臼・斜頚・側彎症・外反母趾・内反足〕 各骨代謝性疾患・骨腫瘍、各形態異常の特徴を説明できる。
4	整形外科疾患④	脊椎疾患〔椎間板ヘルニア・後縦靱帯骨化症・脊椎分離症・脊椎すべり症〕 各脊椎疾患の特徴を説明できる。
5	整形外科疾患⑤	脊椎疾患〔頚部変形脊椎症・腰部変形性脊椎症・頚部脊柱管狭窄症・腰部脊柱管狭窄症〕 各脊椎疾患の特徴を説明できる。
6	整形外科疾患⑥	脊椎疾患〔腰痛症・頚椎捻挫・むちうち損傷〕 脊髄損傷〔脊髄損傷〕 各脊椎疾患、脊椎損傷の特徴を説明できる。
7	整形外科疾患⑦	外傷〔骨折・脱臼〕 各外傷の特徴を説明できる。
8	整形外科疾患⑧	外傷〔捻挫・スポーツ外傷障害〕 各外傷の特徴を説明できる。
9	整形外科疾患⑨	その他の整形外科疾患〔胸郭出口症候群・頚腕症候群・頚肩腕症候群・ガングリオン・手根管症候群〕 その他の各整形外科疾患の特徴を説明できる。
10	整形外科疾患⑩	末梢神経性疾患〔圧迫性および絞扼性ニューロパシー〕 各末梢神経疾患の特徴を説明できる。

11	試験	試験
12	試験解説・まとめ	試験解説とまとめ

科目名【英】	リハビリテーション医学①【Rehabilitation Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	3学期	曜　日	木曜	時　限	2限

担当教員	中塚　和樹	実務者経験	2002年4月～　大和中央病院に所属。 外来・入院の急性期～回復期までのリハビリテーションを行う。

学習内容	一般病院でのリハビリテーション対象疾患となる病態の理解と基本的な運動療法知識の習得。
到達目標	国家試験対策も含めて、リハビリテーションの基礎知識を習得する。

準備学習 時間外学習	運動学・解剖学・各種病態の基礎知識の理解を進める。
使用教材	リハビリテーション医学（東洋療法学校協会）　配布プリント
留意点 備　考	授業のはじめと最後に同一の小テストを行い、授業内での予習復習を行うこと。

成績評価	期末試験100％

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	リハビリテーション総説	障害の評価について
2	運動学の基礎	主に力学と姿勢制御について
3	正常歩行と姿勢	主に正常歩行の基礎知識について
4	異常歩行	各歩行障害の特徴について
5	脳卒中のリハ１	脳卒中の種類と運動麻痺について
6	脳卒中のリハ２	高次脳機能障害について
7	脳卒中のリハ３	脳卒中の運動療法概論
8	脳卒中のリハ４	脳卒中の運動療法実技
9	切断のリハ１	病態生理と運動療法
10	切断のリハ２　まとめ	装具について　試験前まとめ
11	試験	試験
12	試験解説	試験解説

科目名【英】	衛生学・公衆衛生学② 【Hygiene・Public Health】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	2学期	曜　日	水曜	時　限	1限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	わが国では、近年衛生状態および栄養状態の著しい向上と予防医学・治療医学の進展によって、公衆衛生学上の諸条件は整備されてきている。しかし他方では、環境汚染の拡大や社会的不安の増大など多様な問題が浮かび上がってきている。このような時代に即して、健康な生活を進めるには何が必要か、生活環境を、物理的、化学的、生物学的社会因子として考察し、その中の障害因子と疾病との関わりについて学ぶ。各社会集団における健康をめぐる問題点、健康を守るための社会的なシステムを学ぶ。地域、学校、産業、老人、母子など各分野での衛生、保健上の諸問題について理解を深め、衛生行政の仕組み、衛生統計、分野別保健、健康増進、環境衛生について学ぶ。
到達目標	わが国の社会情勢および保健統計についてその現状を理解し、また医療従事者として必要な衛生環境を理解し実践できる水準に達すること。かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達すること。

準備学習 時間外学習	講義後、講義で得た要点を『衛生学・公衆衛生学第2版』にて復習する。
使用教材	『衛生学・公衆衛生学第2版』鈴木庄亮、公益社団法人東洋療法学校協会 編集　（医歯薬出版） 『ライフスタイルと健康』森本曩　著(医学書院) 『国民衛生の動向』(厚生統計協会)
留意点 備　考	講義中、まとめとしてはり師きゅう師国家試験で過去に出題された問題に触れる。

成績評価	期末試験80%　小テスト20%で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	第7章母子保健	[到達目標]妊産婦と乳幼児の保健管理の課題について理解する。母子保健行政について理解する。我が国の母子保健の水準について説明できる。母子保健行政の具体例について説明できる。
2	第8章　成人・高齢者保健	【到達目標]高齢者保健の現状と問題点について理解する。 介護保険の対象者について説明できる。
3	第9章　感染症とその対策	[到達目標]感染症の3要因、感染源・感染経路・感受性の宿主の種類を理解する。 感染症新法に基づく分類1類～3類まで説明できる。
4	第9章　感染症とその対策	[到達目標] 感染症の3要因、感染源・感染経路・感受性の宿主の種類を理解する。 感染症新法に基づく分類1類～3類まで説明できる。
5	第10章 消毒法	[到達目標]消毒法の種類・方法・対象物について説明できる。
6	第10章 消毒法	[到達目標]消毒法の種類・方法・対象物について説明できる。医療従事者として必要な衛生環境の知識構築をし、実践できる。
7	第11章 疫学	[到達目標]疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。
8	第11章 疫学	[到達目標]疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。 実験疫学、分析疫学のうち提示された研究デザインに対して、リサーチクエスチョンの設定、簡便的に各デザインを組み立てる。
9	第11章 疫学	[到達目標]疫学の研究方法と研究デザインについて学ぶ。またその特徴について説明できる。

10	第12章　保健統計	[到達目標]我が国の衛生統計に関するげんじょうと変化・公衆衛生の問題点について理解する。 人口動態の5事象、平均余命とはなにか説明できる。
11	第12章　保健統計	[到達目標]我が国の衛生統計に関するげんじょうと変化・公衆衛生の問題点について理解する。 人口動態の5事象、平均余命とはなにか説明できる。
12	まとめ	まとめ
10	試験	試験

科目名【英】	東洋医学概論②【Outline of Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	1.2学期	曜　日	月曜	時　限	1限

担当教員	副田　恵子	実務者経験	1999年4月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	1年生で学んだ東洋医学概論の復習を取り入れ基礎知識を固めながら、続きP150第2章第3節～P311第5章第3節までの応用を理解し経絡経穴の分野を絡めながら深める。
到達目標	東洋医学の理解を深め、楽しみながら臨床や日常生活にも生かせるようにする。 はり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	重要ポイントの復習が必要。毎回の小テスト対策が重要。
使用教材	教科書「東洋医学概論」（東洋療法学校協会編）　配布プリント
留意点 備　考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	1年時の復習	1年時で学んだ生理物質、蔵象学説の理解の確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	経絡	経絡の概念・機能・構成・病理 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	病因病機	外感・内傷・その他の病因 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	病因病機	病機 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	陰陽学説	陰陽の相互関係 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	五行学説	五行の関係 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	五行学説	五行学説の運用 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	四診	望診 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	四診	聞診 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	四診	問診 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
11	1学期の復習	1年～1学期までの復習と前期試験の解説 80％の内容理解到達を目標とする。
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	1年時～1学期の復習	1年時～1学期で学ん理解の確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	四診	その他の問診　身体症状など 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	四診	疼痛　女性の月経など 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	四診	切診　反応や腹診など 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	四診	切経　脈診　四診合参 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	弁証論治	八綱弁証　気血津液弁証 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	弁証論治	臓腑弁証 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	弁証論治	六経弁証 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	弁証論治	治則 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	弁証論治	治法 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
11	2学期の復習	1年～2学期までの復習と前期試験の解説 80％の内容理解到達を目標とする。
12	試験	試験

科目名【英】	経絡経穴概論②【Outline of the Meridians and Acupuncuture Point】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	2年生	学　期	1学期	曜　日	木曜	時　限	2限

担当教員	駒井　知佳子	実務者経験	2009年4月～2014年6月不妊治療専門病院にて受胎鍼担当。 2014年4月桃の花針灸院開院。

学習内容	経絡と経穴の特徴を学び、経穴の場所や意義を学ぶ。
到達目標	取穴部位の習得（正確に取穴ができる）および治療穴として選穴できるようになる。 はり師きゅう師国家試験の出題される問題を理解し正確な解答を選択できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】新版　経絡経穴概論
留意点 備　考	1．講義と取穴実技を行う。 実技では取穴しやすい服装を用意すること。お互いに尊重しあって行うこと。 2．出席は自分で管理すること。

成績評価	本試験50%　平常点50%。平常点は授業中に行う小テスト等で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	足少陽胆経胆経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
2	足少陽胆経②	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
3	足少陽胆経③	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
4	足厥陰肝経①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
5	足厥陰肝経② 奇穴①	循行経絡・経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
6	奇穴②	経穴名・取穴・特徴を学ぶ。
7	身体指標触察テスト	
8	奇経	奇経八脈の流注の概要、取穴実技
9	経絡経穴学と現代医学	教科書p232～
10	経絡経穴学まとめ	
11	経絡経穴学まとめ	
12	試験	試験

科目名【英】	はりきゅう理論②【Scientific Foundation of Acupuncture】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	2.3学期	曜　日	土曜	時　限	2,3学期 1,2限

担当教員	冨倉　捷矢	実務者経験	2018年4月～2021年3月　機能訓練士としてデイサービスに所属 2021年4月～2022年3月　鍼灸整骨院に所属　その後開業

学習内容	はり術、きゅう術のリスクとそれに対するリスク管理の方法を学ぶとともに、鍼灸治療の科学的な効果について学ぶ
到達目標	鍼灸治療の治療効果について現代医学的な実験やデータに基づく理論の習得。 鍼灸の治療効果に関連のある学説について学ぶ。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要
使用教材	【教科書】はりきゅう理論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講すること

成績評価	各学期に2回小テストを実施。期末試験70％＋小テスト20％＋出席点10％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	第7章　リスク管理	■　感染症対策の概要について ■　消毒レベル〔滅菌・消毒・洗浄〕について 目標：感染対策・消毒レベルを理解する。
2	第7章　リスク管理	■　器具の消毒方法〔オートクレーブなど〕 ■　器具の保管について 目標：器具の消毒方法・保管を理解する。
3	第7章　リスク管理	■　鍼療法の有害事象〔出血内出血・抜鍼困難・脳貧血・遺感覚〕 目標：鍼療法の有害事象を理解する。
4	第7章　リスク管理	■　鍼療法の有害事象〔気胸・折鍼・皮膚反応〕について ■　鍼治療による感染について 目標：鍼療法の有害事象・感染を理解する。
5	第8章　鍼灸治効	■　灸療法の有害事象〔灸痕の化膿・灸あたり〕について 目標：灸療法の有害事象を理解する。
6	第8章　鍼灸治効	■　関連学説 目標：関連学説を理解する。
7	第8章　鍼灸治効	■　運動系の調節 ■　反射運動 目標：運動系の解剖生理学・反射運動を理解する。
8	第8章　鍼灸治効	■　反射運動 ■　自律神経系の概要 目標：反射運動・自律神経系の解剖生理学を理解する。

9	第8章　鍼灸治効	■　自律神経の概要 ■　自律神経を介する反射 目標：自律神経系の反射を理解する。
10	第8章　鍼灸治効	■　自律神経を介する反射 ■　内分泌の概要 目標：内分泌系の解剖生理学を理解する。
11	復習・まとめ	振り返り・まとめ 目標：本学習の内容について確認をする。
12	定期試験	定期試験 目標：本学習の内容について修得している。

授業計画【内容･目標】		
1	第8章　鍼灸治効	■　体性感覚の概要 ■　神経線維 ■　脊髄伝導路 目標：体性感覚・神経線維・脊髄伝導路を理解する。
2	第8章　鍼灸治効	■　痛覚の概要 ■　内因性発痛物質 ■　関連痛 目標：痛覚について理解する。
3	第8章　鍼灸治効	■　温度覚 ■　触圧覚・振動覚 ■　固有感覚・内臓感覚 目標：感覚（温度覚・触圧覚・振動覚・固有感覚・内臓感覚）を理解する。
4	第8章　鍼灸治効	■　熱傷・炎症 ■　体表反応 ■　トリガーポイント 目標：熱傷・炎症と体表反応（トリガーポイント）を理解する。
5	第9章　鍼灸治効	■　鍼鎮痛 ■　内因性オピオイド ■　全身性鎮痛 目標：鍼鎮痛と全身性鎮痛を理解する。
6	第9章　鍼灸治効	■　全身性鎮痛 ■　循環系と鍼灸（軸索反射） 目標：軸索反射を理解する。
7	第9章　鍼灸治効	■　運動系と鍼 ■　消化器系と鍼 ■　泌尿器系と鍼 目標：運動系・消化器系・泌尿器系の鍼治効を理解する。
8	第9章　鍼灸治効	▪　リラクセーションと鍼灸 ▪　生体防御系と鍼灸 目標：リラクセーション・生体防御と鍼灸について理解する。
9	第10章　鍼灸治効	▪　鍼灸治効機序と臨床の接点 目標：鍼灸治効機序と臨床の接点を理解する。
10	復習・まとめ	振り返り・テスト対策 目標：本学習の内容について確認をする。

11	定期試験	定期試験 目標：本学習の内容について修得している。
12	復習・まとめ	定期試験の解答・解説・まとめ

科目名【英】	東洋医学臨床論① 【Clinical Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	76	単　位	5
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	1学期：金曜 2学期：木曜 3学期：水曜	時　限	1学期：1限 2学期：2限 3学期：2限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編）　配布資料・B5ファイル
留意点 備　考	特になし

成績評価	各学期に小テストを実施、学期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	治療総論	【現代医学的】治療原則・治療計画 【東洋医学的】治療原理・治療原則・選穴配穴原則
2	頭痛	現代医学的頭痛の分類　治療法 東洋医学的頭痛の鑑別　弁証
3	顔面痛と歯痛	現代医学的顔面痛の鑑別　適応疾患 東洋医学的弁証　症状～治療方針
4	顔面麻痺	現代医学的鑑別・分類 東洋医学的分類・鑑別・治療方針
5	眼精疲労 鼻閉　鼻汁	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証
6	めまい 耳鳴り　難聴	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
7	脱毛	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
8	咳嗽　喘息	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
9	胸痛　腹痛	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
10	悪心　嘔吐	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
11	ふりかえり	1学期内容まとめ
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	便秘　下痢①	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
2	便秘　下痢②	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
3	月経異常①	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
4	月経異常②	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
5	排尿障害①	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
6	排尿障害②	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
7	勃起障害	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
8	肩こり　頸肩腕痛	現代医学的分類・適応疾患 東洋医学的分類・鑑別・弁証・治療方針
9	肩関節痛　上肢痛①	現代医学的考え方　適応疾患 腱板炎・上腕二頭筋長頭腱炎などの解説 適応疾患：胸郭出口症候群、絞扼神経障害 症状、所見、治療方針、処方例
10	肩関節痛　上肢痛②	現代医学的考え方　適応疾患 腱板炎・上腕二頭筋長頭腱炎などの解説 適応疾患：胸郭出口症候群、絞扼神経障害 症状、所見、治療方針、処方例
11	ふりかえり	２学期内容まとめ
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	肩関節痛　上肢痛	現代医学的考え方　適応疾患 腱板炎・上腕二頭筋長頭腱炎 胸郭出口症候群等　症状、所見、治療方針、処方例
2	腰下肢痛①	現代医学的考え方・適応疾患 筋筋膜性腰痛、坐骨神経痛、梨状筋症候群など
3	腰下肢痛②	現代医学的考え方・適応疾患 筋筋膜性腰痛、坐骨神経痛、梨状筋症候群など
4	運動麻痺①	絞扼神経障害 病態、症状、所見、治療方針など
5	運動麻痺②	絞扼神経障害 病態、症状、所見、治療方針など
6	運動麻痺③	絞扼神経障害 病態、症状、所見、治療方針など
7	高血圧　　低血圧	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など
8	不眠	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など

9	疲労　倦怠	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など
10	食欲不振　肥満	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など
11	試験	試験
12	発疹　小児の症状	現代医学的考え方 東洋医学的考え方：分類・弁証など

科目名【英】	東洋医学臨床論② 【Clinical Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	2年生	学　期	2.3学期	曜　日	2学期：月曜 3学期：水曜	時　限	2学期２限 3学期２限

2学期 担当教員	山本　岳	2学期実務者 経験	学校附属診療所にて３年間勤務

3学期 担当教員	坂井　優志	3学期 実務者経験	金沢武士団鍼灸整骨院　1年間勤務 まえいけ整骨院　1年半勤務

学習内容	徒手検査などの検査の施行、検査値について学習する。
到達目標	疾患の判断をおこない適切な徒手検査が行うことができる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK
留意点 備　考	

成績評価	平常点：30%【小テスト、課題提出：30点満点】　本試験：70%【筆記試験：100点満点】

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	運動器疾患の検査法	感覚検査、反射検査、徒手筋力検査、関節可動域検査 各種検査の概要を説明できる
2	血圧	血圧測定、血圧のメカニズム、高血圧 血圧測定の実施に必要な事項を列挙できる
3	頚部運動器疾患の 検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 頚部各種検査法を説明できる
4	腰部運動器疾患の 検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 腰部各種検査法を説明できる
5	上肢運動器疾患の 検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 上肢各種検査法を説明できる
6	上肢運動器疾患の 検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 上肢各種検査法を説明できる
7	上肢運動器疾患の 検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 下肢各種検査法を説明できる
8	下肢運動器疾患の 検査法	徒手検査法、関節可動域検査、徒手筋力検査 下肢各種検査法を説明できる
9	徒手検査法	まとめ
10	神経系の検査法	脳神経系検査、感覚検査、反射検査 各種神経系検査法を説明できる
11	振り返り	試験説明、２学期振り返り
12	試験	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	実技	血圧・反射・関節可動域　実技
2	実技	頚部・胸郭出口部の鑑別検査
3	実技	肩関節の鑑別検査
4	実技	上肢(肘関節・手関節)の鑑別検査　今までのおさらい
5	実技	腰臀部の鑑別検査
6	実技	膝関節の鑑別検査
7	実技	主要関節の関節可動域検査
8	実技	主要な部位の筋力検査(MMT)
9	実技	神経疾患の検査
10	まとめ	まとめ、試験練習
11	試験	試験
12	試験	

科目名【英】	はりきゅう実技④～現代診断治療学I～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	火曜	時　限	1限

担当教員	清藤　直人	実務者経験	2002年～　清藤鍼灸院にて鍼灸治療などを担当 2007年～　同院院長として業務に従事

学習内容	整形外科的疾患を重点的に学んでいく。徒手検査などを用いて疾患を鑑別し、症状に伴う治療を学ぶ。
到達目標	①　病的反射、徒手検査、徒手筋力検査法を修得し、疾患を鑑別できるようになる。 ②　現代医学的EBMに基づく施鍼技術の修得、それに基づく東洋医学的治療の修得

準備学習時間外学習	
使用教材	配布プリント、ずっと使える！鍼灸臨床BOOK（滋慶出版）
留意点 備　考	

成績評価	本試験60%、小テスト40%	

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	自己紹介、バイタルサインの理解、一年生の基礎実技の自己評価確認
2	基礎実技	技術の確認、体表観察能力検定
3	頚部疾患の診察・検査・治療①	頚椎症性神経根症と頚椎症性脊髄症の理解。病的反射の修得
4	頚部疾患の診察・検査・治療②	頚椎症に対する局所、遠隔治療（使用鍼：寸３－1番）
5	胸郭出口症候群の診察・検査・治療①	斜角筋症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
6	胸郭出口症候群の診察・検査・治療②	肋鎖症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
7	胸郭出口症候群の診察・検査・治療③	過外転（小胸筋）症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
8	1学期復習①	頚部、胸郭出口症候群に対する病的反射、徒手検査の理解と確認
9	1学期復習②	頚部、胸郭出口症候群に対する治療穴の理解と確認
10	1学期復習③	頚部、胸郭出口症候群に対する治療穴の理解と確認
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	肩関節痛の診察・検査・治療①	上腕二頭筋長頭腱炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
2	肩関節痛の診察・検査・治療②	腱板炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
3	肩関節痛の診察・検査・治療③	肩峰下インピジメント症候群を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
4	肩関節痛の診察・検査・治療④	肩峰下滑液包炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
5	肘関節痛の診察・検査・治療	上腕骨外側上顆炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
6	上肢末梢神経障害の診察・検査・治療①	絞扼性尺骨神経麻痺を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
7	上肢末梢神経障害の診察・検査・治療②	絞扼性正中神経麻痺、ド・ケルバン病を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
8	2学期復習①	肩関節痛、肘関節痛、上肢末梢神経障害に対する病的反射、徒手検査の理解と確認
9	2学期復習②	肩関節痛、肘関節痛、上肢末梢神経障害に対する治療穴の理解と確認
10	2学期復習③	肩関節痛、肘関節痛、上肢末梢神経障害に対する治療穴の理解と確認
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	腰下肢痛の診察・検査・治療①	非特異的腰痛、腰部脊柱管狭窄症を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸6－2番）
2	腰下肢痛の診察・検査・治療②	坐骨神経痛を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
3	仙腸関節痛の診察・検査・治療	仙腸関節炎を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
4	股関節痛の診察・検査・治療	股関節障害を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
5	腰下肢痛の診察・検査・治療③	椎間板ヘルニアを鑑別する病的反射、徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番、寸6－2番）
6	膝関節痛の診察・検査・治療	半月板、側副靱帯、十字靱帯損傷を鑑別する徒手検査と治療（使用鍼：寸３－１番）
7	下肢の診察・検査・治療	スポーツ障害、足関節、捻挫、足底筋膜炎に対する治療（使用鍼：寸３－１番）
8	3学期復習①	頚部、胸郭出口症候群に対する病的反射、徒手検査の理解と確認
9	3学期復習②	頚部、胸郭出口症候群に対する治療穴の理解と確認
10	試験	試験

11	試験	試験
12	応用編	西洋医学と東洋医学を融合した治療の取り組み

科目名【英】	はりきゅう実技⑤～中医診断治療学I～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	土曜	時　限	1.2限

担当教員	一井　綾乃	実務者経験	1996年4月～鍼灸院所属、 1996年7月～2013年3月大阪医大付属病院麻酔科ペインクリニック所属

学習内容	東洋医学的な観点からの診断学・治療学を学ぶ。
到達目標	「舌診」「脈診」「腹診」の基本技術を身につけながら、主要症候に対して、中医学に基づいた観点からの鍼灸治療を行えるようにする。

準備学習 時間外学習	東洋医学概論、経穴学を復習する。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	基本的には鍼は1寸3分の1番鍼、2番鍼、3番鍼を使用する。

成績評価	毎時間片手挿管、紙上施灸を実施。それを平常点とし20～30％＋期末試験70～80％で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	1年次の復習、2年次終了時までの到達目標を把握する。
2	四診1	四診とは何かを学習し、舌診のやり方を理解する。
3	四診2	舌診を理解し、診ることができる。
4	四診3	脈診と腹診を理解し、診ることができる。
5	診断1	陰陽の虚証、実証の症候を診ることができる。
6	診断2	気の虚証、実証の症候を診ることができる。
7	診断3	血の虚証、実証の症候を診ることができる。
8	診断4	津液の虚証、実証の症候と精の虚証を診ることができる。
9	まとめ	試験の内容を理解し、練習する。
10	まとめ	1学期の内容を理解し、復習する。
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	診断1	肝の病証に対して診断を下し、治療することができる。
2	診断2	心の病証に対して診断を下し、治療することができる。
3	診断3	脾の病証に対して診断を下し、治療することができる。
4	診断4	肺の病証に対して診断を下し、治療することができる。
5	診断5	腎の病証に対して診断を下し、治療することができる。
6	診断6	肝の病証に対して診断を下し、治療することができる。
7	診断7	心の病証に対して診断を下し、治療することができる。
8	診断8	脾の病証に対して診断を下し、治療することができる。
9	まとめ	試験の内容を理解し、練習する。
10	試験	2学期の内容を理解し、復習する。
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	診断1	肺の病証に対して診断を下し、治療することができる。
2	診断2	腎の病証に対して診断を下し、治療することができる。
3	診断3	肝の病証に対して診断を下し、治療することができる。
4	診断4	心の病証に対して診断を下し、治療することができる。
5	診断5	脾の病証に対して診断を下し、治療することができる。
6	診断6	肺の病証に対して診断を下し、治療することができる。
7	診断7	腎の病証に対して診断を下し、治療することができる。
8	診断8	六腑の病証に対して診断を下し、治療することができる。
9	まとめ	試験の内容を理解し、練習する。
10	試験	試験
11	試験	試験
12	振り返り	3学期の内容を理解し、復習する。

科目名【英】	はりきゅう実技⑥～中医診断治療学Ⅱ～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	2年生	学　期	通年	曜　日	金曜	時　限	1,2学期：2限： 3学期：1限

1.2学期 担当教員	丸茂　美保子	1.2学期 実務者経験	1992年～2004年　鍼灸院や整形外科に所属 2004年～2014年　教員養成・専門学校専任教員　2014年開業

1.2学期 学習内容	1学期：部位別に触診し硬結・張りがどこにあるか、全身を観察して左右での違い冷たい部位や他より温かい部位がないか観察する。 2学期：5回程度　症例を用いて東洋医学的に証立てをする。それ以降はグループワーク
1.2学期 到達目標	1学期：全身の観察（左右での違い・温度差・長さなど）ができるようにする。硬結・張りを触診でき硬結や張りの部位に刺鍼し硬結に刺さった感覚・弛んだ感覚を習得する。 2学期：症例を東洋医学的に思考できる。処方穴の穴性を理解し臨床実習や臨床で使えるツボを増やす。

1.2学期	
準備学習 時間外学習	東洋医学概論　東洋医学臨床論　解剖学（筋肉）を使用しながら行う
使用教材	［教科書］東洋医学概論　東洋医学臨床論（はりきゅう編）解剖学（筋肉）滋慶共通テキスト ［プリント］プリントで学習する。
留意点 備　考	2学期　必要なテキストを持参する

1.2学期 成績評価	1学期：本試験80点　平常点20点（プリントへの記載内容は平常点に含む） 2学期：本試験70点　ペーパー試験20点　平常点10点

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	授業の進め方・評価についての説明、施術力の確認
2	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
3	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
4	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
5	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
6	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
7	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
8	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
9	身体観察刺鍼	状態を確認し、症状のある部位への施術
10		試験前　まとめ
11	試験	試験
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
2	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
3	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
4	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
5	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
6	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
7	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
8	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
9	グループワーク	グループにて問診・東洋医学的診断・処方・施術を行う（発表・ミニカルテあり）
10		試験前　まとめ
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期 担当教員	酒井　美登子	2.3学期 実務者経験	2002年～2004年　整形外科リハビリ室にてあまし師として従事 2008年～　専門学校にて非常勤講師として従事 2009年～　開業

3学期 学習内容	臨床でよく出会う疾患に対して鍼灸適応か不適応かを見分け、東洋医学と西洋医学の両面からのアプローチをしていく。疾患ごとに病態を把握して、安全深度、治療穴の選穴を学び、実際にその穴に鍼灸実技を行う。
3学期 到達目標	各疾患の病態を把握したうえで、患者様のお身体にどの様なアプローチが出来るか臨床現場で困らないようにする。

3学期	
準備学習 時間外学習	東洋医学臨床論（はりきゅう編）に目を通しておく。
使用教材	［教科書］東洋医学臨床論（はりきゅう編）、滋慶共通テキスト、鍼灸マニュアル ［プリント］各回２０～３０分程度プリントで学習する。
留 意 点 備　　考	授業前後の挨拶は、人間関係の基本です。しっかり挨拶してください。

3学期 成績評価	本試験　６０点　　平常点　４０点

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	東洋医学臨床論　Ⅰ	腰痛・腰下肢痛
2	Ⅱ	頸・肩のこり・痛み
3	Ⅲ	特別講義　小児はりの実際
4	Ⅳ	月経異常・排尿障害・ＥＤ

5	Ⅴ	高血圧・低血圧
6	Ⅵ	悪心と嘔吐・便秘・下痢
7	Ⅶ	特別講義　漢方薬の煎じを味わう
8	Ⅷ	発熱・冷え・のぼせ
9	Ⅸ	不眠・疲労と倦怠
10	試験	試験
11	試験	試験
12	総括	試験の講評、今後の課題

科目名【英】	臨床実習① 【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	90	単　位	2
学　年	2年生	学　期	1,3学期	曜　日	1学期：土曜 3学期：月曜	時　限	1学期：1.2限 3学期：1限

1学期 担当教員	山本　岳	1学期 実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務
3学期 担当教員	髙木　健之	3学期 実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当
3学期 担当教員	中村　沙樹	3学期 実務者経験	医療法人社団汐咲会　しおさき鍼灸施術所　など　11年

学習内容	3年次の臨床実習で必要な医療面接やカルテ記載の方法など、実習を通して獲得する。
到達目標	医療面接において必要な情報をスムーズに聴取することができる。 カルテ記載において、医療面接より得た情報を詳細にまとめることができる。

準備学習 時間外学習	自身でかかったことのある医療機関のことを思い出してみる。
使用教材	ずっと使える！鍼灸臨床BOOK　配布資料など
留意点 備　考	健常者への聴取になるが、患者役の訴えを親身に聴くようにする。

成績評価	出席点【1学期は実技試験の評価も加味する】＋レポート評価　※原則100％の出席にて評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	医療面接①	オリエンテーション 医療面接について　方法論や聴取する内容についての講義
2	医療面接②	医療面接実技 患者役と施術者役に分かれそれぞれ医療面接をおこなう
3	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
4	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
5	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
6	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
7	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
8	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
9	医療面接+鍼灸実技	それぞれの障害部位を聴取し、施術案を立案、実施してみる
10	物理療法	超音波治療器、低周波治療器、鍼通電治療器、電子温灸器の使用方法
11	物理療法	超音波治療器、低周波治療器、鍼通電治療器、電子温灸器の使用方法
12	物理療法	超音波治療器、低周波治療器、鍼通電治療器、電子温灸器の使用方法

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
2	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
3	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
4	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
5	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
6	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
7	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
8	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
9	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
10	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
11	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう
12	外部臨床実習	外部医療施設にて実習をおこなう

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	鍼灸臨床研究	鍼灸の臨床研究について知る
2	鍼灸臨床研究	自分の興味がある研究を調べてみる
3	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
4	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
5	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
6	鍼灸臨床研究	研究内容を立案する
7	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ
8	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ
9	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする
10	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする
11	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする
12	カルテ記載	カルテに記載する情報にどのようなものがあるのか学ぶ 症例を用いて分類分けをする

科目名【英】	保健体育【Health and Physical Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	月曜日	時　限	2限

担当教員	片上 かの子	実務者経験	2012年 大阪体育大学にて中学・高等学校保健体育教諭第1種免許状取得 2020年 鍼灸・スポーツトレーナーとして開業

学習内容	様々なスポーツ種目において生じるスポーツ障害・外傷についての評価・処置・運動療法等の習得を目指す。
到達目標	基礎的なスポーツ障害・外傷において必要な対応・処置に関する知識の習得。

準備学習 時間外学習	解剖学の復習、外傷の評価方法の復習
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	受講時は基本的に白衣着用

成績評価	本試験 60% 出席 40%

授業計画【内容･目標】		
1	上肢のスポーツ障害	野球肩、水泳肩、肩関節脱臼、腱板損傷(インピンジメント)　評価/治療/運動療法
2	上肢のスポーツ障害	野球肩、水泳肩、肩関節脱臼、腱板損傷(インピンジメント)　評価/治療/運動療法
3	上肢のスポーツ障害	斜角筋症候群、頸肩症候群　評価/治療/運動療法
4	上肢のスポーツ障害	斜角筋症候群、頸肩症候群　評価/治療/運動療法
5	体幹のスポーツ障害	腰椎椎間板ヘルニア,腰椎分離症,腰痛,梨状筋症候群　評価/治療/運動療法
6	体幹のスポーツ障害	腰椎椎間板ヘルニア,腰椎分離症,腰痛,梨状筋症候群　評価/治療/運動療法
7	体幹のスポーツ障害	腰椎椎間板ヘルニア,腰椎分離症,腰痛,梨状筋症候群　評価/治療/運動療法
8	女性疾患について	女性アスリートの三徴候,REDS,生理痛への対応など
9	自律神経について	アスリートが直面する自律神経への問題
10	現場で使えるリンパ治療	リンパの流れに対する治療
11	試験前復習	
12	試験	

授業計画【内容･目標】		
1	下肢のスポーツ障害	ジャンパー膝,ランナー膝,鵞足炎,ハムストリングス肉離れ　評価/治療/運動療法
2	下肢のスポーツ障害	ジャンパー膝,ランナー膝,鵞足炎,ハムストリングス肉離れ　評価/治療/運動療法
3	下肢のスポーツ障害	ジャンパー膝,ランナー膝,鵞足炎,ハムストリングス肉離れ　評価/治療/運動療法
4	下肢のスポーツ障害	シンスプリント,腓骨筋腱炎,アキレス腱炎　評価/治療/運動療法
5	下肢のスポーツ障害	シンスプリント,腓骨筋腱炎,アキレス腱炎　評価/治療/運動療法
6	テーピング	足関節へのテーピング
7	救急処置	スポーツ現場で直面する救急処置
8	実践的ストレッチ	セルフストレッチ,ペアストレッチ
9	実践的ストレッチ	セルフストレッチ,ペアストレッチ
10	スポーツ選手のコンディショニング	試合期,トレーニング期等に合わせたコンディショニング
11	試験前復習	
12	試験	

科目名【英】	マネジメント学 Office Management			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	2学期	曜　日	土曜	時　限	1 2限

担当教員	西川　和義	実務者経験	2004年～西川東洋医学研究所　院長

学習内容	開業に向け、必要な知識を学ぶ。
到達目標	将来に向けて、自己のビジネスプランを作成する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】なし　　【配布資料】あり
留意点 備　考	

成績評価	本試験（レポート）＋出席点

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成①	独自性、ベンチャー、知の高度化、バイタリティ、専門化、知の連鎖、工夫・改善・開発等の要素の意味の学習
2	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成②	ビジネスプラン作成方法について
3	参考になる他の業界の動き、 ベンチャービジネスから学ぶ①	国内外のベンチャービジネスの事例。オンリーワン志向となる病院では？ベンチマーク、複合技術等
4	参考になる他の業界の動き、 ベンチャービジネスから学ぶ②	まとめ
5	開業に向けて	接遇マナー
6	開業に向けて	接遇マナー
7	開業に向けて	マーケティング
8	開業に向けて	患者さん対応
9	開業に向けて	介護現場
10	開業に向けて	介護現場
11	開業に向けて	保険診療
12	開業に向けて	まとめ

科目名【英】	臨床医学総論②【Clinical Medicine in General】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：木曜 2学期：月曜 3学期：火金	時　限	1限

担当教員	髙木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備　考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約8回小テスト実施。期末試験80％＋小テスト20％で評価。再試験は試験100％、小テストは含まない。

授業計画【内容･目標】		
1	診断学32	全身状態の診察15【皮膚・粘膜・皮下組織４】
2	診断学33	全身状態の診察16【皮膚・粘膜・皮下組織５】
3	診断学34	全身状態の診察17【皮膚・粘膜・皮下組織６】
4	診断学35	全身状態の診察18【皮膚・粘膜・皮下組織７】
5	診断学36	局所状態の診察１【頭頸部１】
6	診断学37	局所状態の診察２【頭頸部２】
7	診断学38	局所状態の診察３【胸部・腹部】
8	診断学39	局所状態の診察４【直腸・肛門・外性器・背部】
9	診断学40	局所状態の診察５【四肢】
10	診断学41	そのほかの診察【関節可動域・救急時・女性・小児・高齢者】 臨床検査１【概要・尿検査１】
11	試験案内・解説	試験の案内および解説、再試験に向けての案内
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	診断学42	臨床検査２【尿検査２・糞便検査・血液検査】
2	診断学43	臨床検査３【血液生化学検査】
3	診断学44	臨床検査４【免疫学的検査】
4	診断学44	臨床検査４【自己抗体検査】
5	診断学44	臨床検査４【喀痰検査】
6	診断学44	臨床検査４【髄液検査】
7	診断学44	臨床検査４【関節液検査】
8	診断学45	生命徴候の診察１【体温】
9	診断学46	生命徴候の診察２【脈拍】
10	診断学47	生命徴候の診察３【血圧１】
11	試験案内・解説	試験の案内および解説、再試験に向けての案内
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	診断学48	生命徴候の診察４【血圧２】
2	診断学49	生命徴候の診察５【呼吸】
3	診断学50	身体計測・神経系の診察１【感覚系の診察１】
4	診断学51	神経系の診察２【感覚系の診察２】
5	診断学52	神経系の診察３【反射の診察】
6	診断学53	神経系の診察４【脳神経系の診察１】
7	診断学54	神経系の診察４【脳神経系の診察２】
8	診断学54	神経系の診察４【髄膜刺激症状の診察１】
9	診断学55	神経系の診察５【運動機能の診察２】
10	診断学56	神経系の診察６【運動機能の診察２】
11	診断学57	神経系の診察７【運動機能の診察３】
12	治療学 臨床心理	治療学 臨床心理

科目名【英】	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期：火 金 2学期：水曜	時　限	1学期：1限 2学期：2限

1学期 担当教員	竹中　美樹	1学期 実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	臨床医学各論は各疾患の症状や検査などについて学ぶもので解剖学や生理学の基礎を基に各疾患について深く講義していく。
到達目標	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念、疫学、病因、病態生理、症状、診断、治療などを理解し、臨床の場において実際に活用できるレベル、かつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とす

準備学習 時間外学習	1年次、2年次に学んだ解剖学・生理学の復習
使用教材	【教科書】臨床医学各論　　【配布資料】あり
留意点 備　考	なし

成績評価	各学期に小テストを実施。期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	肝胆膵疾患	肝疾患
2	肝胆膵疾患	肝疾患
3	肝胆膵疾患	胆道疾患
4	肝胆膵疾患	胆道疾患
5	肝胆膵疾患	膵臓疾患
6	血液疾患	赤血球疾患
7	血液疾患	白血球疾患
8	血液疾患	白血球疾患
9	血液疾患	リンパ　出血性素因
10	その他領域	皮膚科疾患
11	まとめ	まとめ
12	試験	試験

2学期 担当教員	中土　育弘	実務者 経験	2016年4月～2019年3月　鍼灸師学科　専任教員として勤務 2023年10月～　鍼灸接骨院開業	

学習 内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習を行う。	
到達 目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。	

準備学習 時間外学習	1、2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	平常点【小テスト】（30点）、定期試験（70点）にて評価

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	消化器系疾患１	口腔疾患、食道疾患、胃・十二指腸疾患について説明できる。
2	消化器系疾患２	胃・十二指腸疾患、腸疾患について説明できる。
3	消化器系疾患３	腹膜、その他の消化器疾患について説明できる。
4	循環器疾患１	循環器の解剖生理学、心臓疾患について説明できる。
5	循環器疾患２	動脈疾患、血圧異常、その他の循環器疾患について説明できる。
6	一般外科	熱傷、凍傷と凍瘡、ショック、救急処置、心肺蘇生術について説明できる。
7	麻酔科１	全身麻酔の種類と方法・特徴、脊髄くも膜下麻酔について説明できる。
8	麻酔科２	硬膜外麻酔・表面麻酔・浸潤麻酔・伝達麻酔について説明できる。
9	耳鼻科疾患	耳の構造、耳鼻科疾患について説明できる。
10	精神科疾患	神経症、統合失調症、うつ、心身症、その他の疾患について説明できる
11	振り返り	まとめの講義
12	定期試験	定期試験

科目名【英】	リハビリテーション医学②【Rehabilitation Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	木曜	時　限	1.2限：2限 3学期：1限

担当教員	中塚　和樹	実務者経験	2002年4月～　大和中央病院所属。 外来・入院の急性期～回復期までのリハビリテーションを行う。

学習内容	一般病院でのリハビリテーション対象疾患となる病態の理解と基本的な運動療法知識の習得。
到達目標	各疾患に対する運動療法に対して必要な知識と基礎的な評価・運動療法技術の習得。

準備学習 時間外学習	運動学・解剖学・各種病態の基礎知識の理解を進める。
使用教材	リハビリテーション医学　第4版（東洋療法学校協会）　配布プリント
留意点 備　考	授業のはじめと最後に同一の小テストを行い、授業内での予習復習を行うこと。 授業行う教室は適宜変更していくため、確認しておくこと。

成績評価	期末試験100％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	脊髄損傷１	①脊髄損傷の後遺症　②教科書　③プリント　PC　プロジェクター　④教室
2	脊髄損傷２	①脊髄損傷の運動療法概論　②教科書　実技可能な服装 ③プリント　PC　プリント車椅子　松葉杖　④実技室
3	切断	①切断の合併症　義足について　②教室　③プリントPC　プロジェクター　④教室
4	小児リハ１	①正常発達の理解　②教科書　③プリント　PC　プロジェクター　④教室
5	小児リハ２	①脳性麻痺の定義・分類の理解。②教科書③プリント・PC・プロジェクター④教室
6	リウマチ	①リウマチの病体生理と変形予防の運動療法②教科書 ③プリントPC　プロジェクター④教室
7	末梢神経障害	①末梢神経損傷の病体生理（各変形の生理）②教科書 ③プリント　PC･プロジェクター
8	パーキンソン病	①パーキンソン病の病体生理②教科書③プリント　PC　プロジェクター④教室
9	呼吸器疾患 （胸郭の運動学）	①慢性閉塞性肺疾患の病体生理（呼吸生理学・運動学）②教科書・実技可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　ラジカセ　聴診器　④実技室/鍼灸実技室
10	形態測定	①試験解説　四肢長測定　②教科書　計測しやすい服装 ③プリント　メジャー　④実技室
11	１期まとめ	①試験前まとめ　②教科書　プリント　③PC　プロジェクター　④教室
12	試験	試験

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	形態測定	①周径測定　②教科書　計測しやすい服装　③プリント　メジャー　④実技室
2	関節可動域測定１	①上肢の関節可動域測定　②教科書　計測しやすい服装　③教科書　④実技室
3	関節可動域測定２	①下肢の関節可動域測定　②教科書　計測しやすい服装　③教科書　④実技室
4	肩関節周囲炎 （肩関節運動学）	①肩関節の機能解剖学と肩関節周囲炎の病態と運動療法（関節可動域改善と筋力強化） ②教科書P134～P137　P202～P208 ③プリント　実技可能服装　ダンベル　PC　プロジェクター④鍼灸実技室
5	腰痛 （脊椎運動学）	①腰痛の病体生理（腰椎・骨盤の運動学）②教科書・実技が可能な服装 ③プリントPCプロジェクター　簡易ベッド　④基礎医学教室/鍼灸実技室
6	変形性膝関節症 （膝関節運動学）	①変形性膝関節症の病体生理（膝関節の運動学）②教科書・実技が可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　簡易ベッド　テーピング ④基礎医学教室/鍼灸実技室
7	変形性股関節症　大腿骨頸部骨折 （股関節運動学）	①大腿骨頚部骨折の病体生理（股関節の運動学）②教科書 ③プリント　PC　プロジェクター　簡易ベッド　④基礎医学教室/鍼灸実技室
8	徒手筋力テスト1	①上肢の徒手筋力測定　②教科書　測定しやすい服装　③プリント　④実技室
9	徒手筋力テスト1	①下肢の徒手筋力測定　②教科書　測定しやすい服装　③プリント　④実技室
10	物理療法１	①２期試験解説と物理療法　②教科書　③プリントPC　プロジェクター　④教室
11	２期まとめ	①試験前まとめ②教科書　プリント　③PC　プロジェクター　④教室
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	物理療法２	①物理療法　②教科書　③プリントPC　プロジェクター　④教室
2	関節可動域訓練１ (頚椎足関節運動学)	①頚椎　足関節の関節可動域訓練　②教科書・実技が可能な服装 ③プリント④実技室
3	関節可動域訓練２ （肩・股関節）	①肩　股関節の関節可動域訓練　②教科書・実技が可能な服装③プリント④実技室
4	筋力トレーニング1	①筋力増加のメカニズム　上肢の筋力強化方法　②教科書　実技が可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　ダンベル等　④実技室
5	筋力トレーニング2	①体幹下肢の筋力強化方法　②教科書　実技が可能な服装 ③プリント　PC　プロジェクター　ダンベル等　　④実技室
6	国家試験対策１	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室
7	国家試験対策２	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室
8	国家試験対策３	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室
9	国家試験対策４	①過去問を各疾患別に分けた問題を行う。②教科書等 ③プリント　PC　プロジェクター④教室

10	3期まとめ	①試験前まとめ②教科書プリント③PC　プロジェクター④教室
11	試験	試験
12	3期試験解説と 総まとめ	①試験解説　国家試験対策②教科書・プリント③PC　プロジェクター④教室

科目名【英】	東洋医学臨床論③ 【Clinical Oriental Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	1学期	曜　日	金曜	時　限	2限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編）　配布資料・B5ファイル
留意点 備　考	特になし

成績評価	小テストを実施、学期末試験70％＋小テスト30％で評価する。

授業計画【内容･目標】		
1	スポーツ障害①	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
2	スポーツ障害②	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
3	スポーツ障害③	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
4	スポーツ障害④	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
5	スポーツ障害⑤	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
6	高齢者医療	現代医学的病態把握
7	高齢者医療	現代医学的病態把握
8	高齢者医療	現代医学的病態把握
9	診察の記録・評価法	施術記録（ＳＯＡＰ分類）・痛みの評価
10	診察の記録・評価法	各種領域の評価法（耳鼻科・消化器科・婦人科・泌尿生殖器科・精神科・高齢者）
11	ふりかえり	1学期内容まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	関係法規【Legal Issues in Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単　位	3
学　年	3年生	学　期	1.2学期	曜　日	1学期：月曜 2学期：水曜	時　限	1学期1限 2学期1限

担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師の国家試験、開業に必要な法規を学ぶ。
到達目標	・はり師・きゅう師国家試験問題に対応できるようになる。 ・開業時に必要な法律が理解できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】関係法規第7版
留意点 備　考	

成績評価	本試験70%　平常点30%

授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	法規とは？　評価方法説明
2	はり師・きゅう師に関する法律①	免許と試験
3	はり師・きゅう師に関する法律②	免許と試験
4	はり師・きゅう師に関する法律③	施術に関する注意　　施術所に関する規則
5	はり師・きゅう師に関する法律④	名称制限・広告制限・罰金・罰則
6	法と実定法	法とは何か　　法の種類
7	国試演習①	総合領域
8	国試演習②	総合領域
9	国試演習③	総合領域
10	国試演習③	総合領域
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

授業計画【内容･目標】		
1	医事法規と医療制度・医療法	病院・診療所・助産所について
2	国家試験願書下書き	願書練習
3	国家試験願書本番	願書本番
4	医療法	病院・診療所・助産所について
5	医師法 その他の医療従事者に関する法律衛生関係法規	各医療従事者の法律 保健一般・予防衛生・環境衛生に関する法律
6	社会福祉関係法規 社会保険関係法規	福祉の7法 医療保障制度
7	国試演習①	総合領域
8	国試演習②	総合領域
9	国試演習③	総合領域
10	国試演習④	総合領域
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

科目名【英】	はりきゅう実技⑦～特殊鍼法I～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：水曜 2学期：木曜 3学期：土曜	時　限	1学期：1限 2学期：1限 3学期：1.2限

1学期担当教員	向井　陽子	実務者経験	2003年より3年半　リハビリ施設でリハビリ助手として勤務 2006年より向井鍼灸院を開院　現在に至る

学習内容	本授業では、スポーツ現場において求められる鍼灸施術を想定し、簡易姿勢評価を基盤とした評価能力と、経絡を全身のつながりとして捉える思考力、筋膜刺鍼・灸・手技を組み合わせた実践的施術技術の習得を目的とする。 経絡は特定の流派や証決定を目的とするものではなく、評価結果を整理し、施術選択を考えるための思考の枠組みとして用いる。 毎回の授業冒頭に簡易姿勢評価およびバランス評価を行い、「評価 → 経絡的整理 → 施術 → 再評価」の流れを反復することで、臨床現場で即応できる実践力の定着を図る。
到達目標	・簡易姿勢評価およびバランス評価を実施できる　・評価結果を経絡の流れと関連づけて整理できる ・評価をもとに施術部位・施術方法を考えることができる　・筋膜刺鍼の基本操作を安全に行うことができる ・灸・手技を目的に応じて併用できる　・施術前後の変化を観察し、説明できる 3年生では評価結果をもとにした施術選択および説明能力の向上を目指す。

準備学習 時間外学習	解剖学・経絡経穴概論の予習が必要。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	副教材として解剖学・経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	・授業態度　・実技への取り組み　・評価内容の記述および実技試験の結果 期末試験60%＋平常点（提出物の採点込み）40%

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション・簡易姿勢評価	授業の進め方、簡易姿勢評価・バランス評価の目的と方法
2	筋膜刺鍼の基礎①	下肢の浮腫・疲労に対する鍼灸施術および手技
3	筋膜刺鍼の基礎②	全身疲労に対する鍼灸施術および手技 局所評価から全身調整への展開
4	スポーツ障害①	下肢（足関節・下腿）に対する評価と施術
5	スポーツ障害②	下肢のオーバーユース障害（シンスプリント等）に対する評価と施術
6	スポーツ障害③	上肢（肘関節）に対する評価と施術
7	スポーツ障害④	筋損傷（肉離れ）に対する評価と施術
8	競技・現場を想定した施術	短時間施術の組み立て

9	総まとめ・振り返り	評価から施術、再評価までの流れの整理
10	試験説明・実技練習	試験内容・評価基準の説明および練習
11	実技試験①	期末試験
12	実技試験②	期末試験

2学期 担当教員	佐々木　友子	実務者経験	2007年～2015年　専門学校にて講師 2008年～　鍼灸治療院などにて鍼灸治療に従事

学習内容	臨床でよく診る症状に対する基本的な治療について
到達目標	実践的な鍼灸治療の基本を身に付ける、知熱灸をできるようになる。

準備学習 時間外学習	日々、片手挿管と施灸の練習、経絡経穴を覚える
使用教材	配布プリント
留 意 点 備　　考	疑問点があればすぐに質問をすること

成績評価	実技試験

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	望診・切診	仰臥位にて、診るポイント＆確認するポイントについて
2	望診・切診	伏臥位にて、診るポイント＆確認するポイントについて
3	肩こりの治療	弁証、治療法、実技指導
4	倦怠の治療	弁証、治療法、実技指導
5	腰痛の治療	弁証、治療法、実技指導
6	頭痛の治療	弁証、治療法、実技指導
7	便秘の治療	弁証、治療法、実技指導
8	風邪の治療	弁証、治療法、実技指導
9	月経前症候群の治療	弁証、治療法、実技指導
10	振り返り・まとめ	２学期の振り返り・まとめ、試験対策
11	定期試験	定期試験
12	定期試験	定期試験

3学期 担当教員	柳岡　比登美	実務者経験	1999年免許取得、病院リハビリ科勤務・在宅訪問治療院勤務・鍼灸整骨院勤務を経て開業。主に女性や高齢者に特化した臨床経験が豊富です。

学習内容	3学期：近年、新たに登場した分野である「美容鍼」の基本的知識と手技および婦人科疾患の関わりも含め 身体のトータルケアを目指すことができるよう、現代医学的な治効理論や科学的情報の活用を学びます。
到達目標	3学期：①「美容鍼」に必要な基礎知識を修得することができること ②臨床現場で活用ができることを目標とします。

準備学習 時間外学習	3学期：消毒・押手・切皮・抜鍼など刺鍼に関する基礎動作を各自再確認するようお願いいたします。
使用教材	3学期：授業前に資料プリントを配布いたします。自立する手鏡の持参をお願いいたします。
留 意 点 備　　考	3学期：衛生管理には特に注意してください。

成績評価	3学期：期末実技試験(100%)の結果に授業1コマ欠席(−5点)を加算し、成績評価とします。

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	美容鍼灸理論/実技	美容鍼の認知と今後の展望/道具の選び方と基本刺鍼
2	美容鍼灸理論/実技	現代の主な美容医療と鍼灸の併用/主要経穴への刺鍼
3	美容鍼灸理論/実技	皮膚の解剖生理の復習/主要経穴への刺鍼
4	美容鍼灸理論/実技	シワ・たるみの原因と美容鍼の効果/頭鍼の基礎
5	美容鍼灸理論/実技	美容鍼灸の効果(皮膚・筋肉・全身)/通電の基礎と筋アプローチ
6	美容鍼灸理論/実技	内出血のマネジメント(刺鍼による有害事象)
7	美容鍼灸実技	同意書とカウンセリング・施術立案
8	美容鍼灸実技	クライアントの評価とクロージング・アフターフォロー
9	試験前復習	3学期に学んだ内容を説明できる 3学期で学んだ内容を実践できる
10	試験	試験
11	試験	試験
12	美容鍼灸実践	同意書→カウンセリング→施術立案→施術→クロージング→カルテ

科目名【英】	はりきゅう実技⑧～中医診断治療学Ⅱ～ Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	土曜	時　限	1 2限

担当教員	副田　恵子	実務者経験	1999年4月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	実際の臨床で使う経絡経穴を使用し、手技の応用や体表観察の技術を疾患ごとに身につける。
到達目標	1、２年生で習得した手技を発展させ、臨床に生きる治療技術の習得を目標とする。

、

準備学習 時間外学習	各疾患の東洋医学的理解の復習
使用教材	鍼灸道具　配布プリント
留意点 備　考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験80％程度＋小テスト20％程度で評価する。

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	頚肩腕痛①	２年時で学んだ手技の理解と確認。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	頚肩腕痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	顔面痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	顔面痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	肩関節痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	肩関節痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	腰下肢痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	腰下肢痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	脱毛症①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	復習
11	試験	
12	試験	

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	眩暈①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	眩暈②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	顔面麻痺①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	顔面麻痺②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	便秘・下痢①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	便秘・下痢②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	歯痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
8	歯痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
9	眼精疲労①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	
11	試験	試験
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	鼻閉鼻汁①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
2	鼻閉鼻汁②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
3	耳鳴り・難聴①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
4	耳鳴り・難聴②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
5	胸痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
6	胸痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
7	試験	試験
8	試験	試験
9	呼吸困難①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80％の内容理解到達を目標とする。
10	復習	

11	復習	
12	復習	

科目名【英】	はりきゅう実技⑨～臨床応用学Ⅱ～【Practice of Acupuncture and Moxibustion】			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単　位	2
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：土癰 2 3学期：火曜	時　限	1学期：12限 23学期：2限

1学期担当教員	伊佐治　景悠	実務者経験	2018年明治国際医療大学大学院　博士後期課程　修了 2018年～SR鍼灸グループ総院長

学習内容	1学期：現代医学的な観点からの臨床技術を学ぶ。解剖学や生理学に基づいた刺入理論を理解する。
到達目標	1学期：狙ったポイントに刺入と刺激ができ臨床現場で実践できる技術レベルに到達することを目的とする。

準備学習 時間外学習	
使用教材	
留意点 備　考	学校で決められたこと（容姿、準備、片付けなど）を守る。 実技は危険を伴うことがあるので、私語を慎み、説明をよく聞き、慎重に行う。

成績評価	1学期：定期試験100％

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	刺入の基礎①	直刺、斜刺、横刺など刺鍼の基本
2	刺入の基礎②	刺鍼部位や目的に合わせた刺手と押手の基本
3	鍼通電刺激	通電器の使用方法と臨床的意義
4	鍼鎮痛	下行性痛覚抑制系の賦活と局所鎮痛
5	頸肩部刺鍼	運動鍼などを活用した硬結へのアプローチ
6	腰部刺鍼	傍脊柱筋や腰方形筋などへのアプローチ
7	膝関節刺鍼	変形性膝関節症などへのアプローチ
8	中髎刺鍼	中髎の取穴と骨膜刺激
9	陰部神経刺鍼	刺鍼部位の取穴と陰部神経刺激
10	総復習	各刺鍼方法の復習
11	試験	実技試験
12	試験	実技試験

2 3学期 担当教員	小西　未来	実務者経験	医療法人池岡診療所　池岡鍼灸院（2010年～）

学習内容	疾患の鑑別、治療法と技術の習得
到達目標	・よく使用する施術部位の触知、刺鍼が出来る。 ・臨床を想定した声掛け、施術方法、刺鍼方向、安全深度を選択し、実施できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料あり。
留意点 備　考	

成績評価	本試験80%、出席点20%　　本試験は実技と筆記の合計点とする。

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	下肢の神経痛①	主に腰椎に由来する下肢の神経痛を症状とする疾患の鑑別と腰部への刺鍼
2	上肢の神経痛①	主に頸部に由来する上肢の神経痛を症状とする疾患の鑑別と頚部への刺鍼
3	腰痛症	腰痛を主訴とする疾患の鑑別と腰部への刺鍼
4	肩こり①	肩こりを主訴とする疾患の鑑別と肩背部への刺鍼
5	肩こり②	頚部への鍼通電による肩背部へのアプローチ
6	足底腱膜炎の治療	下腿三頭筋、足底部への刺鍼
7	上腕骨外/内側上顆炎	上腕骨外側上顆炎と上腕骨内側上顆炎に対する刺鍼
8	上肢の神経痛②	前腕部の絞扼神経症障害の鑑別と刺鍼
9	下肢の神経痛②	下肢の神経痛の原因となる臀部への刺鍼
10	試験	
11	試験	
12	復習	

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	パーキンソン症状	パーキンソン病（症候群）の鑑別と筋強剛、振戦に対する刺鍼
2	耳鍼	食欲、ストレス緩和などの耳への施術
3	消化器症状	食欲調整、胃部不快感などに対する施術
4	三叉神経痛	三叉神経痛に対する刺鍼

5	顔面神経麻痺	顔面神経麻痺に対する刺鍼
6	急性筋筋膜性疼痛	急性筋筋膜性疼痛（寝違い・ぎっくり腰）に対する刺鍼
7	アレルギー症状	咳嗽、鼻閉、鼻汁、咽頭痛などの症状に対する施術
8	逆子	逆子への施術の留意点と施術
9	帯状疱疹	帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛予防の刺鍼
10	試験	
11	試験	
12	復習	

科目名【英】	臨床実習② 【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	90	単　位	3
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	火・金曜	時　限	1限

担当教員	丸茂　美保子	実務者経験	1992年～2004年　鍼灸院、整形外科に所属 2004年～2014年　教員養成・専門学校専任教員　2014年開業
担当教員	村上　朱保	実務者経験	臨床検査技師、はり師きゅう師の国家資格、進級教員免許を保有 臨床検査技師として病院にて10年9か月 鍼灸師として7年間の臨床経験あり 中国の大学病院において中医師インターンとして5年間の実務経験あり 2015年～鍼灸専門学校にて講義・実習を担当

学習内容	学内臨床施設にて学生や学外の患者への対応を実習担当教員の監視の下、実習をおこなう。
到達目標	臨床現場にて、医療面接から得た情報をもとに治療への方針を計画し、実施できる。

準備学習 時間外学習	3年次までに学んだ事柄をまとめておく。
使用教材	鍼灸施術用具
留意点 備　考	・基本的には100％出席にて評価対象となる。 ・担当教員の指導に従う。

成績評価	別紙『臨床実習ガイドライン』参照

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	オリエンテーション	臨床実習についてのオリエンテーション カルテ記載の方法など
2	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術　学生同士での施術、面接練習

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
2	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
3	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
4	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
5	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
6	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
7	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
8	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
9	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
10	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
11	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応
12	臨床実習	AグループBグループに分かれて対応

科目名【英】	総合領域① 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期:水曜 2学期:火金 3学期:木癈	時　限	1学期:2限 23学期:1限 3学期:2限

1学期 担当教員	中土　育弘	実務者経験	2016年4月～2019年3月　鍼灸師学科　専任教員として勤務 2023年10月～　鍼灸接骨院開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習を行う。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1、2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	平常点【小テスト】（30点）、定期試験（70点）にて評価

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	生理学の基礎、循環	細胞の状態、血液、血液循環について説明できる。
2	循環、呼吸	心臓、脈管系、呼吸とガス交換について説明できる。
3	消化と吸収、代謝	消化管の運動、消化液、代謝、栄養素について説明できる。
4	体温、排泄	体温調節、体熱の産生と放散、発汗、腎臓、尿生成、畜尿と排尿について説明できる。
5	内分泌	ホルモンの種類と働きについて説明できる。
6	生殖・成長と老化	生殖器、性周期、妊娠、出産、老化について説明できる。
7	神経	神経の構造と働き、受容体、末梢と中枢神経、反射、脳、脳脊髄液、自律神経について説明できる。
8	筋・運動	骨格筋、筋線維、興奮収縮連関、筋のエネルギー、筋の受容器、運動ニューロン、反射、について説明できる。
9	感覚	感覚受容器、体性感覚、内臓感覚、特殊感覚について説明できる。
10	生体の防御機構、 身体活動の協調	生体の防御機構、身体のホメオスタシスについて説明できる。
11	振り返り	まとめの講義
12	定期試験	定期試験

23学期 担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備　　考	

成績評価	2学期　定期試験（70%）　小テスト（30%）　　3学期小テスト（１００%）

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	呼吸	解剖・生理について説明できる。
2	呼吸	解剖・生理について説明できる。
3	呼吸	疾患について想起できる。
4	腎臓	解剖・生理について説明できる。
5	腎臓	解剖・生理について説明できる。
6	腎臓	疾患について想起できる。
7	内分泌	解剖・生理について説明できる。
8	内分泌	解剖・生理について説明できる。
9	内分泌	疾患について想起できる。
10	体温	生理学について得s爪倚出来る
11	振り返り	まとめ
12	試験	試験

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	婦人科疾患	子宮頚癌～子宮内膜症について説明できる。
2	消化器	解剖・生理について説明できる。
3	消化器	解剖・生理について説明できる。
4	消化器	疾患について想起できる。
5	生殖器	男性生殖器について説明できる。

6	生殖器	女性生殖器について説明できる。
7	膠原病	典型6疾患を列挙できる。
8	膠原病	疾患について想起できる。
9	肝臓・胆のう・膵臓	解剖・生理について説明できる。
10	肝臓・胆のう・膵臓	疾患について想起できる。
11	血液疾患	貧血
12	血液疾患	白血病・紫斑病・血友病

科目名【英】	総合領域②【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単　位	4
学　年	3年生	学　期	通年	曜　日	1学期：火曜 2学期：金曜 3学期：月曜	時　限	1学期：2限 2学期：2限 3学期：2限

1学期担当教員	今井　亜里紗	実務者経験	2020年4月～2026年3月　鍼灸院に所属

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	1学期：本試験【80%】＋小テスト・平常点【20%】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	東洋医学概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	東洋医学概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	東洋医学概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	東洋医学概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	東洋医学概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	東洋医学概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
10	試験案内	復習
11	復習	復習
12	試験	試験

2学期 担当教員	高木　健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	２学期：本試【80%】+小テスト【20%】　3学期（水）：平常点【小テスト】にて評価【100%】

2学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	経絡経穴概論の言葉を列挙できる
10	試験案内	復習
11	復習	復習
12	試験	試験

3学期 担当教員	坂井　優志	実務者経験	金沢武士団アスリート整骨院にて１年間施術担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	リハビリテーション医学の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	解剖学の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	解剖学の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	解剖学の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	解剖学の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	解剖学の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	生理学の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	生理学の言葉を列挙できる

科目名【英】	総合領域③ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	水曜	時　限	2限

担当教員	松本　栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月　鍼灸整骨院に所属 2024年～鍼灸院勤務　2025年～開業

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

1学期　授業計画【内容･目標】		
1	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
2	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
3	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
4	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
5	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
6	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
7	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
8	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
9	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
10	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
11	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
12	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。

科目名【英】	総合領域④ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	月曜	時　限	1限

担当教員	山本　岳	実務者経験	学校附属診療所にて３年間勤務	医療法人社団しおさき会 しおさき鍼灸施術所（2017年４月～2022年

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	国家試験対策①	国家試験に出題される解剖学の内容を説明できる。
2	国家試験対策②	国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
3	国家試験対策③	国家試験に出題される病理学の内容を説明できる。
4	国家試験対策④	国家試験に出題される臨床医学総論の内容を説明できる。
5	国家試験対策⑤	国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
6	国家試験対策⑥	国家試験に出題されるリハビリテーション医学の内容を説明できる。
7	国家試験対策⑦	国家試験に出題される東洋医学概論の内容を説明できる。
8	国家試験対策⑧	国家試験に出題される経絡経穴概論の内容を説明できる。
9	国家試験対策⑨	国家試験に出題される東洋医学臨床論の内容を説明できる。
10	国家試験対策⑩	国家試験に出題されるはりきゅう理論の内容を説明できる。
11	国家試験対策⑪	国家試験に出題される問題の内容を説明できる。
12	国家試験対策⑫	国家試験に出題される問題の内容を説明できる。

科目名【英】	総合領域⑤【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	水曜	時　限	1限

担当教員	竹中　美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	衛生学・公衆衛生学①	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
2	衛生学・公衆衛生学②	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
3	衛生学・公衆衛生学③	まとめ
4	病理学①	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
5	病理学②	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
6	病理学③	まとめ
7	経絡経穴概論①	国家試験対策 国家試験に出題される経絡経穴概論の範囲の言葉を想起できる。
8	経絡経穴概論②	国家試験対策 国家試験に出題される経絡経穴概論の範囲の言葉を想起できる。
9	経絡経穴概論③	まとめ
10	まとめ	まとめ
11	試験	試験
12	試験返却	試験解説

科目名【英】	総合領域⑥【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単　位	1
学　年	3年生	学　期	3学期	曜　日	金曜	時　限	2限

担当教員	山口　隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備　考	

成績評価	小テストにて評価【100%】

3学期　授業計画【内容･目標】		
1	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
2	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
3	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
4	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
5	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
6	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
7	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
8	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
9	各論　生理	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
10	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
11	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる
12	法規　衛星　医概	国家試験出題分野の確認　国家試験に対応できるようになる